Ⅱ　設問と回答分布

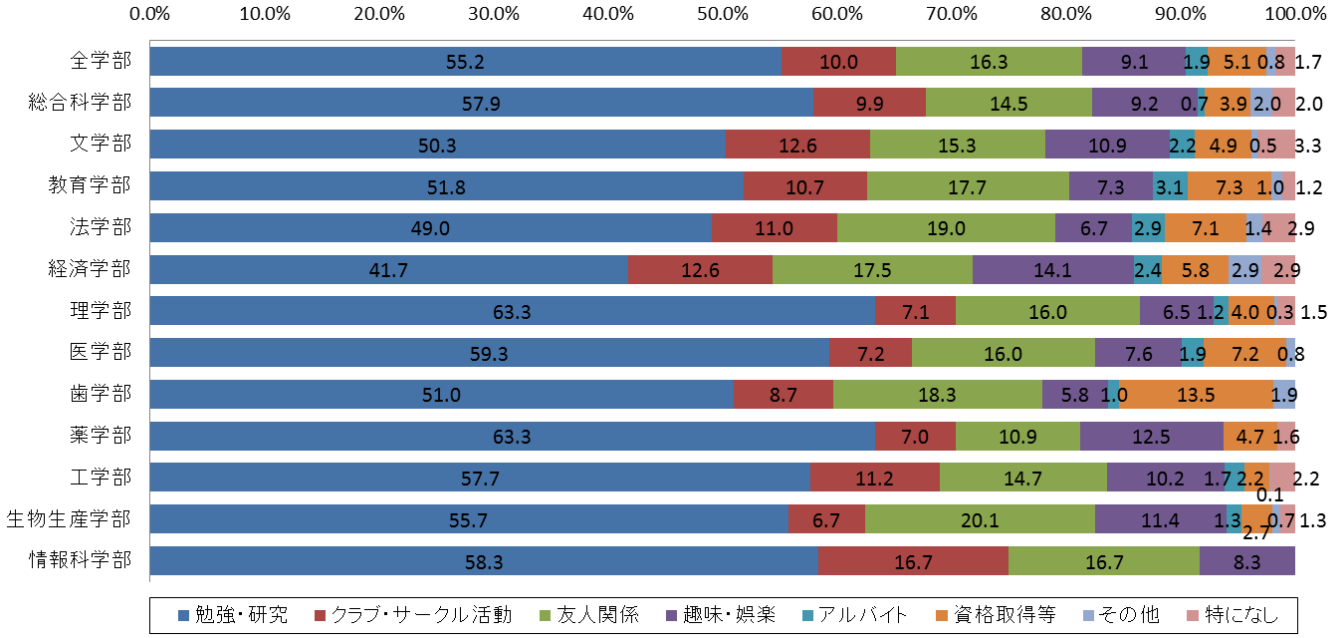
（※　構成比は小数点以下第２位を四捨五入しているため，合計しても 100 にならない場合があります）

学部

１　大学生活において大切にしているもの

設問１　大学生活において何を大切にしていますか。

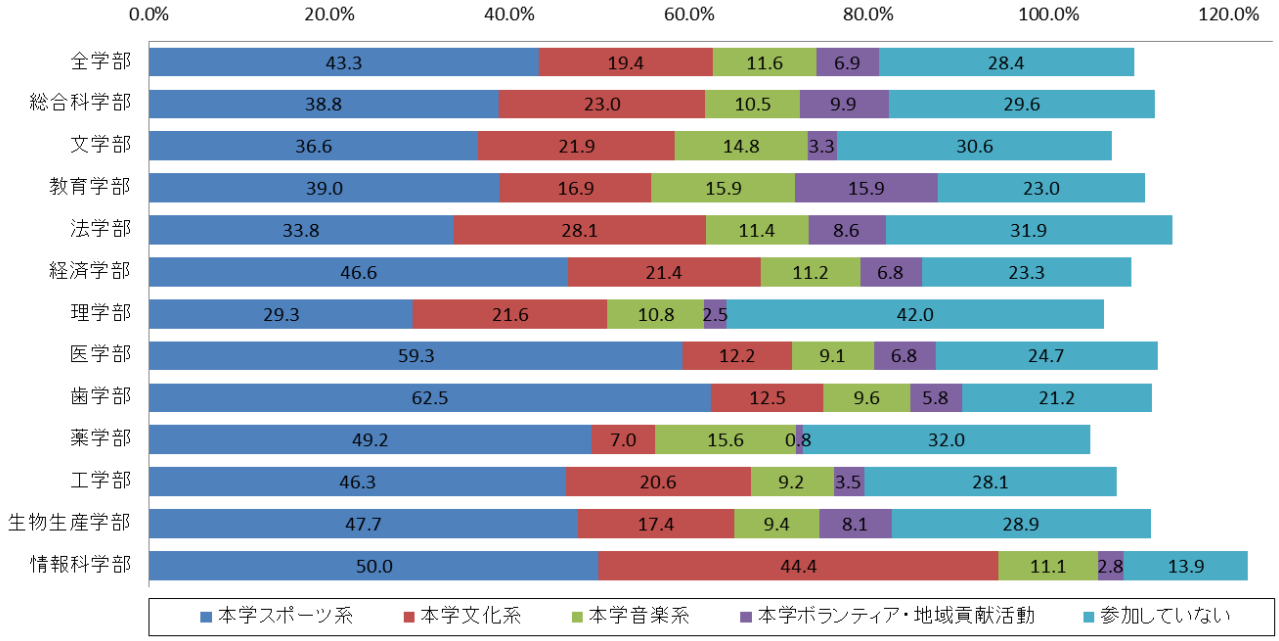
全体として，「勉強・研究」（55.2%）を大切にすると答えた学生が最も多く，次に「友人関係」（16.3%），「クラブ・サークル活動」（10.0%），「趣味・娯楽」（9.1%）と続き，これらの傾向は前回（平成 29 年）とほぼ同様である。



２　学内のクラブ・サークル活動への参加

設問２　学内のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）

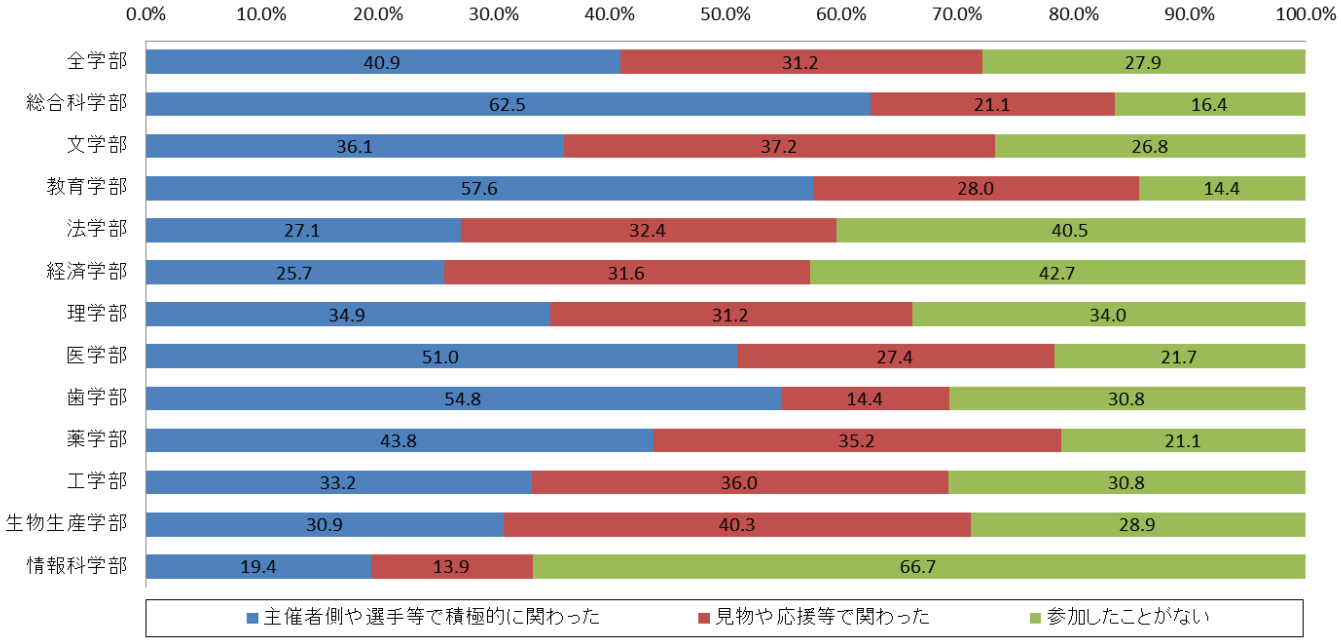
全体では，７割を超える学生が，何らかのクラブ・サークル活動に参加している。サークルを作り継続的に，ボランティアや地域貢献活動に取り組む学生も増加している。課外活動の取り組み範囲が広がってきていると見られる。



３　大学の行事への参加

設問３　大学祭，ゆかたまつり，フェニックスリレーマラソン，霞祭等の大学の行事に参加したことがありますか。

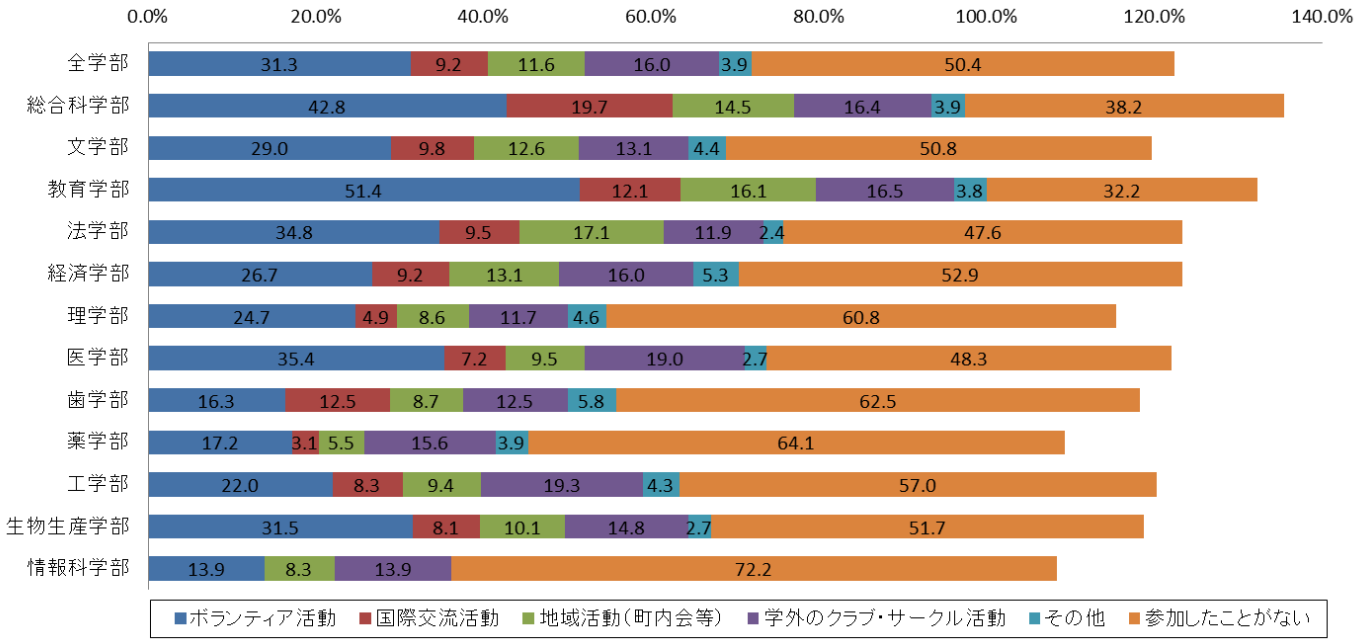
全体として，７割を超える学生が何らかの形で大学行事に参加している。積極的に参加している学生の割合が高いのは，総合科学部・教育学部・歯学部・医学部であり，５割を超えている。今までの調査と比較すると，積極的参加者が増加傾向にある。なお，情報科学部については，初年時であり，アンケート実施時期との関係で参加学生の割合が伸びなかったと思われる。



４　ボランティアや地域活動への参加

設問４　学外のボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。　（複数回答可）

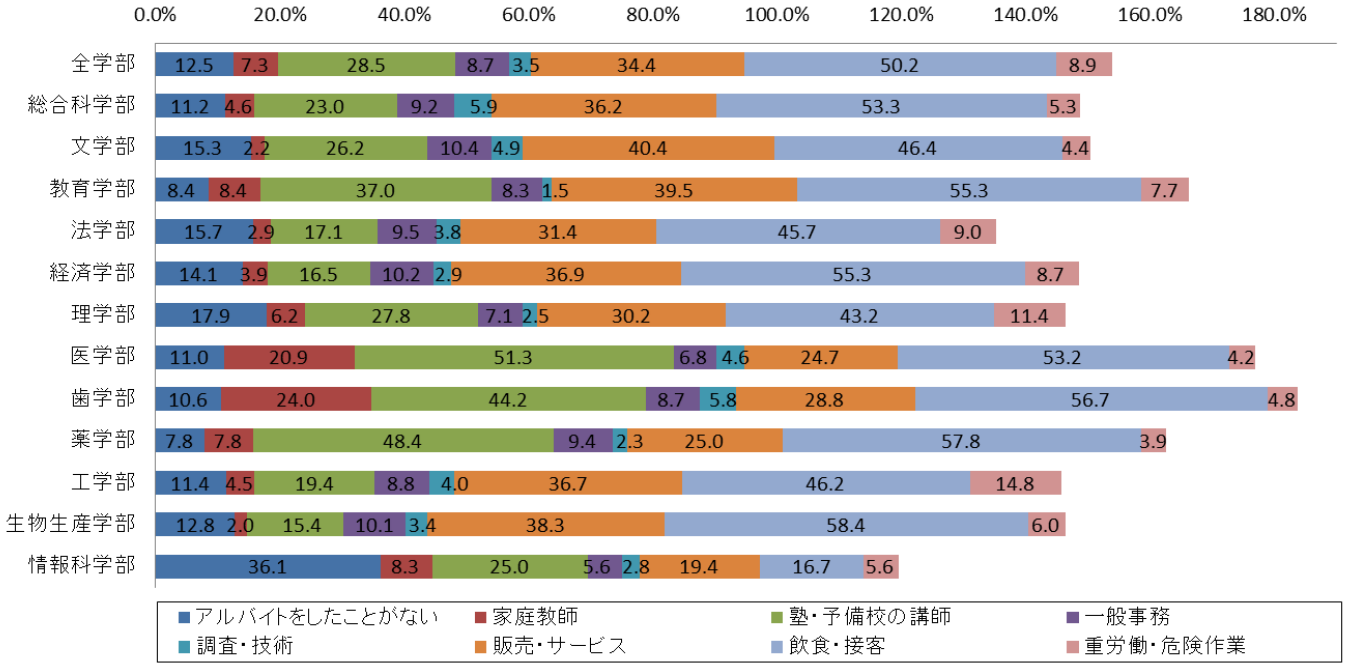
自然災害へのボランティア活動や，子ども支援や国際交流，地域活性化等の地域貢献活動への関心も高まり，地域住民とも協力しながらの積極的な参加が見られる。学部によっては，参加学生の割合が高くないところもある。２０１９年度から始まる初年時インターンシップ・ボランティア等の積極的な情報提供や，指導も必要と思われる。



５　アルバイト

設問５　入学後何らかのアルバイトをしたことがありますか。（複数回答可）

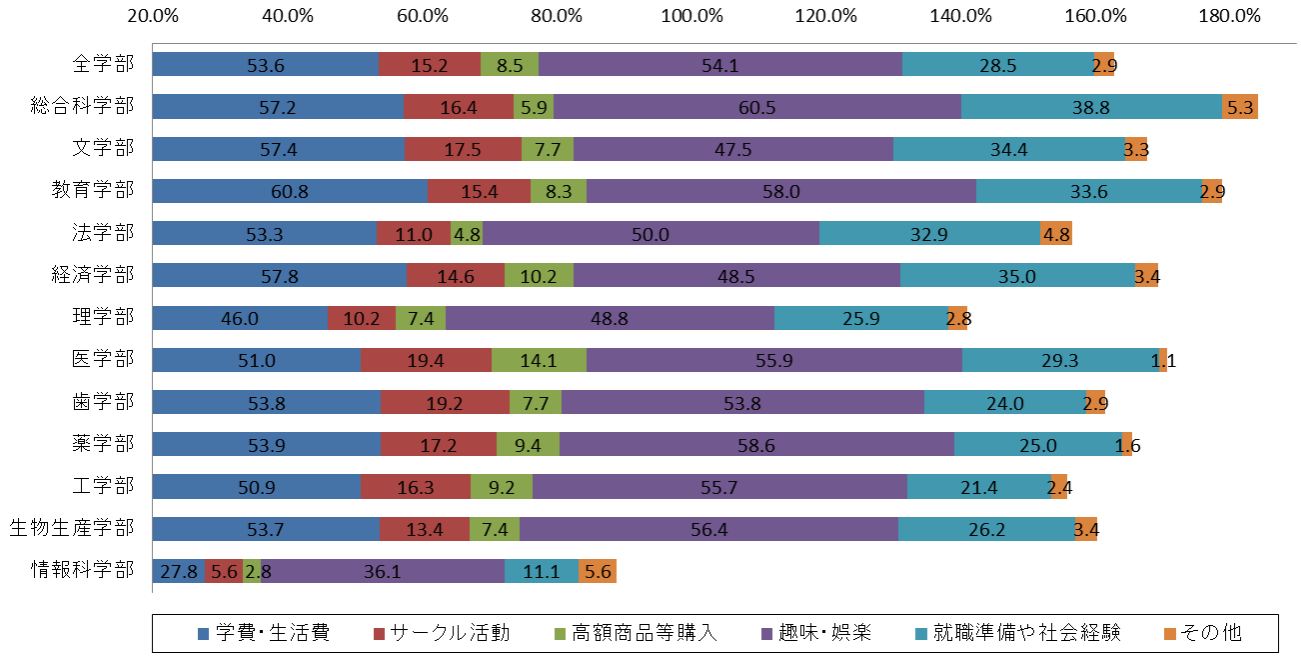
アルバイトをしたことがない学生の割合は，全学的に前回調査より減少傾向にある。多くの学生が何らかのアルバイトをしている中，職種としては，飲食・接客，販売・サービス，塾・予備校の講師の順に多くなっている。この傾向は，今までの調査と比べて，大きな変化は見られない。



設問６　アルバイトの主な目的は何ですか。（複数回答可）

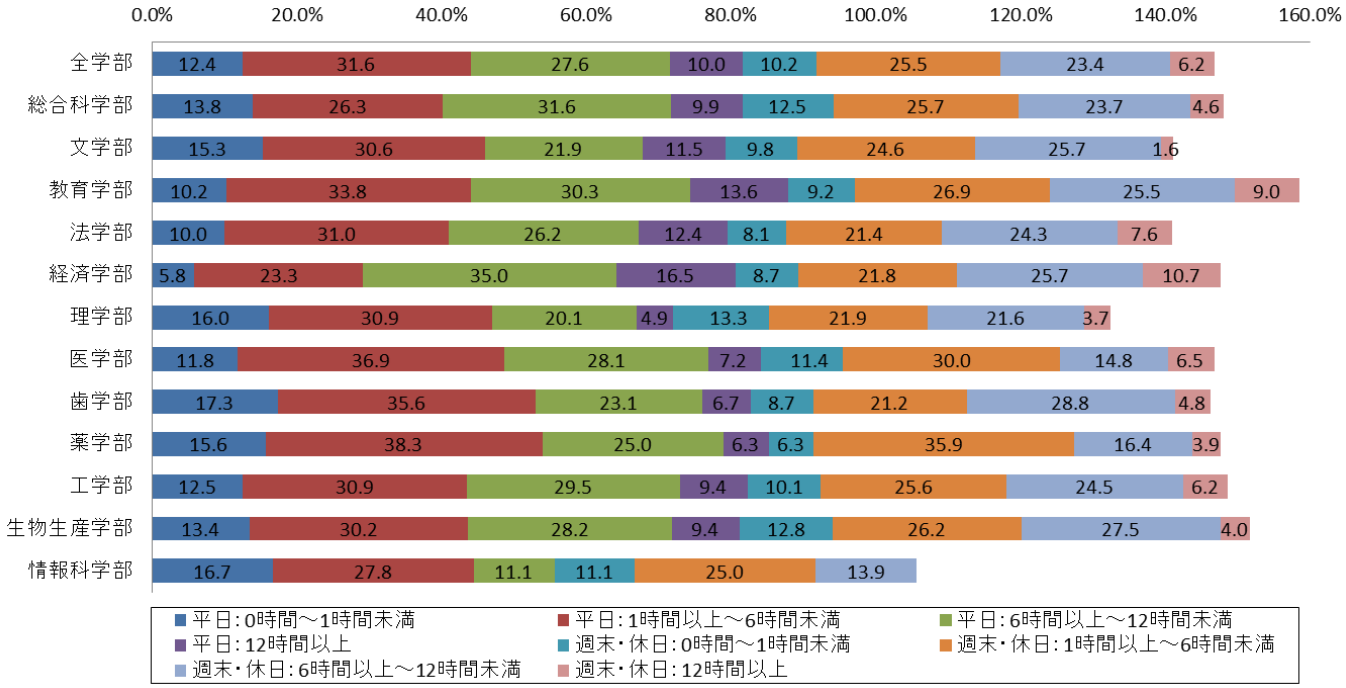
アルバイトの目的は，趣味・娯楽（54.1%），学費・生活費（53.6%），就職準備や社会経験（28.5%）が上位３つの理由である。全体としては，趣味・娯楽のためとする学生が，学費・生活費のためとする学生を上回った。しかしながら，半数以上の学生が，学費・生活費のためにアルバイトを行ない，学業と両立している実態が見られる。

※　グラフの目盛りの最小値は20%



設問７　一週間あたりアルバイトを何時間していますか。「平日」及び「週末・休日」それぞれの中から一つずつ選択してください。

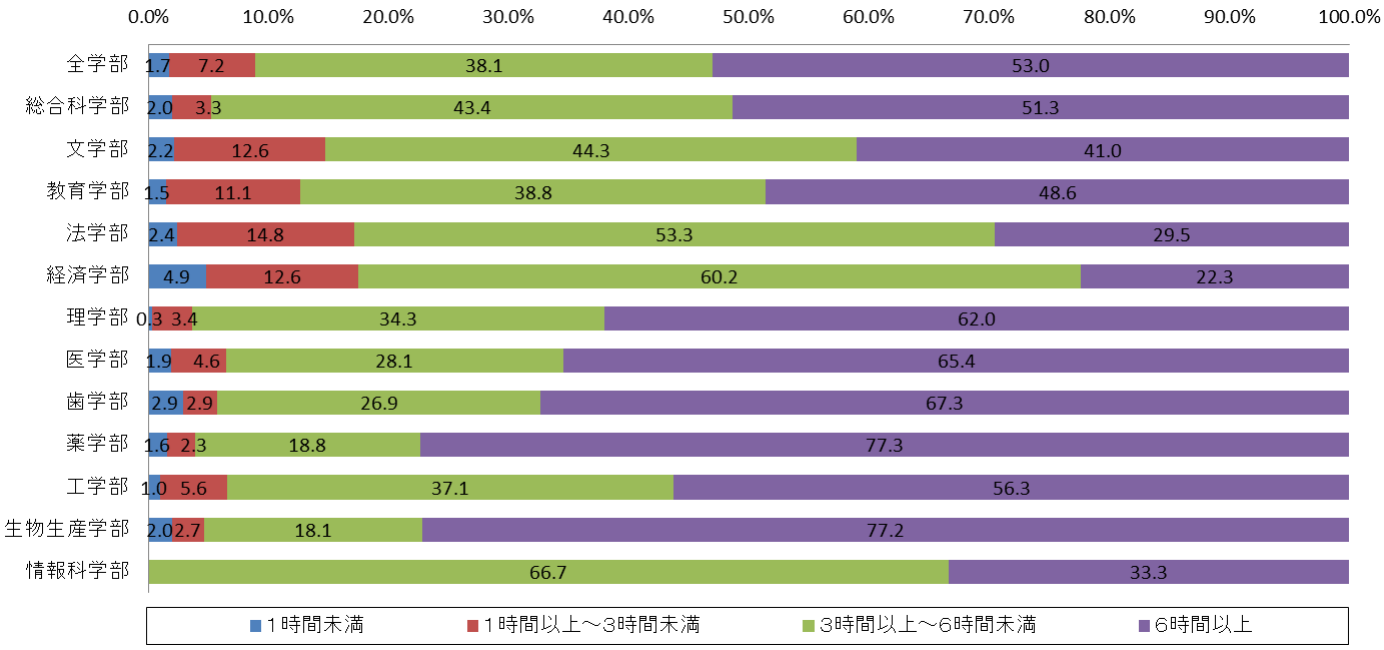
アルバイトをしている時間は，「平日：１時間以上６時間未満」（31.6%），「平日：６時間以上１２時間未満」（27.6%），「週末・休日：１時間以上６時間未満」（25.5%）の順に多い。「平日：０時間から１時間未満」と「平日：６時間以上１２時間未満」の割合が増えている。



６　大学構内での滞在時間・場所について

設問８　一日に大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

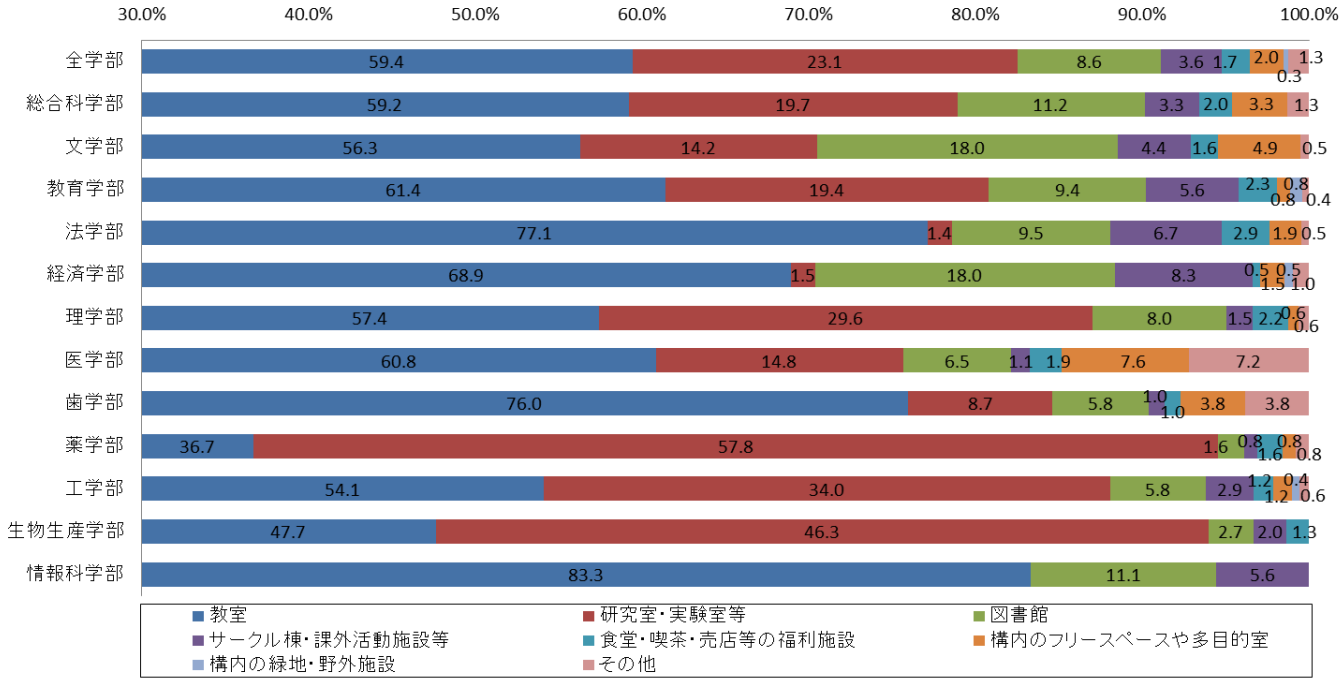
全体では，53.0%の学生が６時間以上構内に滞在している。学部別に見てみると，６時間以上の滞在が多いのは薬学部，生物生産学部，歯学部，医学部，理学部，工学部となり，少ないのは，経済学部，法学部となっている。理系学部の学生の方が，文系学部に比べ，長時間構内に滞在しているという傾向があり，これは前回調査と同じである。



設問９　大学構内の滞在時間のうち，１番多く滞在している場所はどこですか。

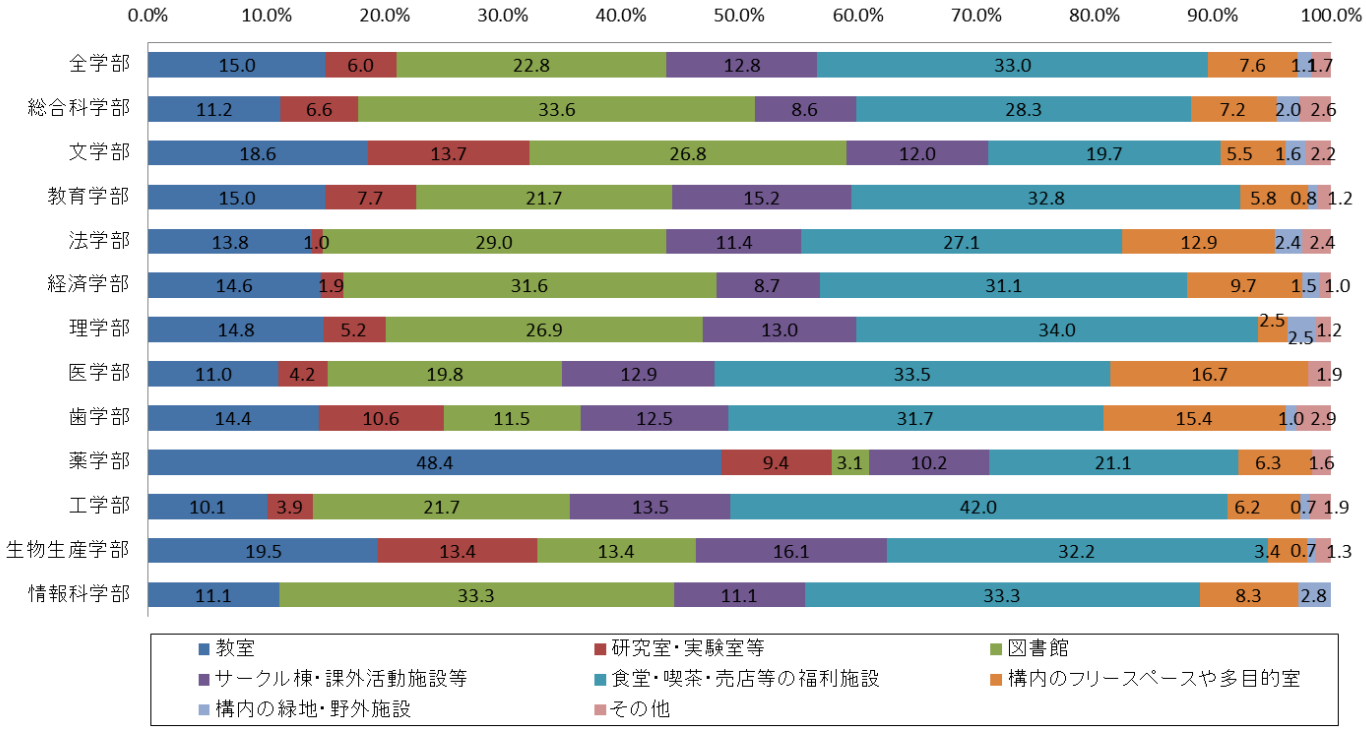
大学構内で一番長く滞在している場所を見てみると，全体では「教室」(59.4%)「研究室・実験室等」(23.1%)，「図書館」（8.6%）の順である。薬学部では，「研究室・実験室等」（57.8%）の滞在が「教室」（36.7%）を上回っている。

※　グラフの目盛りの最小値は30%



設問10　大学構内の滞在時間のうち，２番目に多く滞在している場所はどこですか。

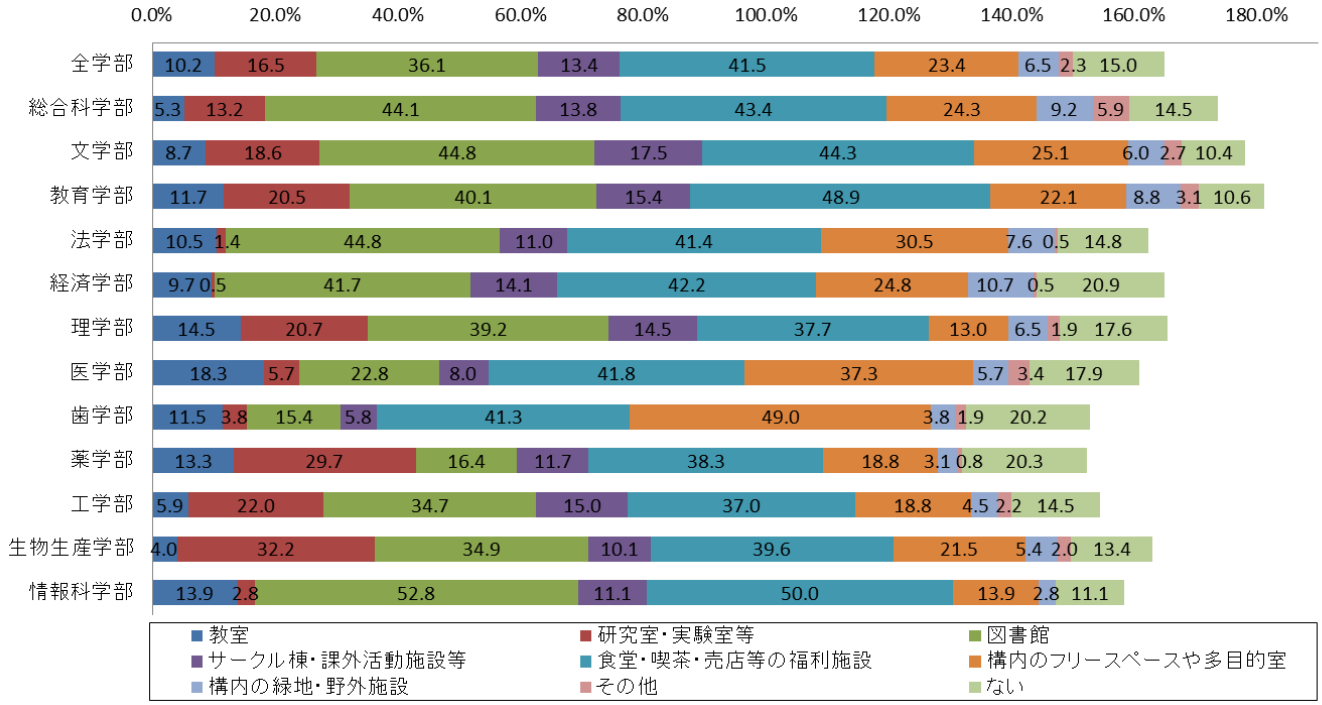
大学構内で２番目に長く滞在している場所は，全体では「食堂・喫茶・売店等の福利施設」（33.0%），「図書館」（22.8%），「教室」（15.0%），「サークル棟・課外活動施設等」（12.8%）となっている。



7　大学構内でくつろいで過ごせる場所

設問 11　大学内にくつろいで過ごせる場所はありますか。（複数回答可）

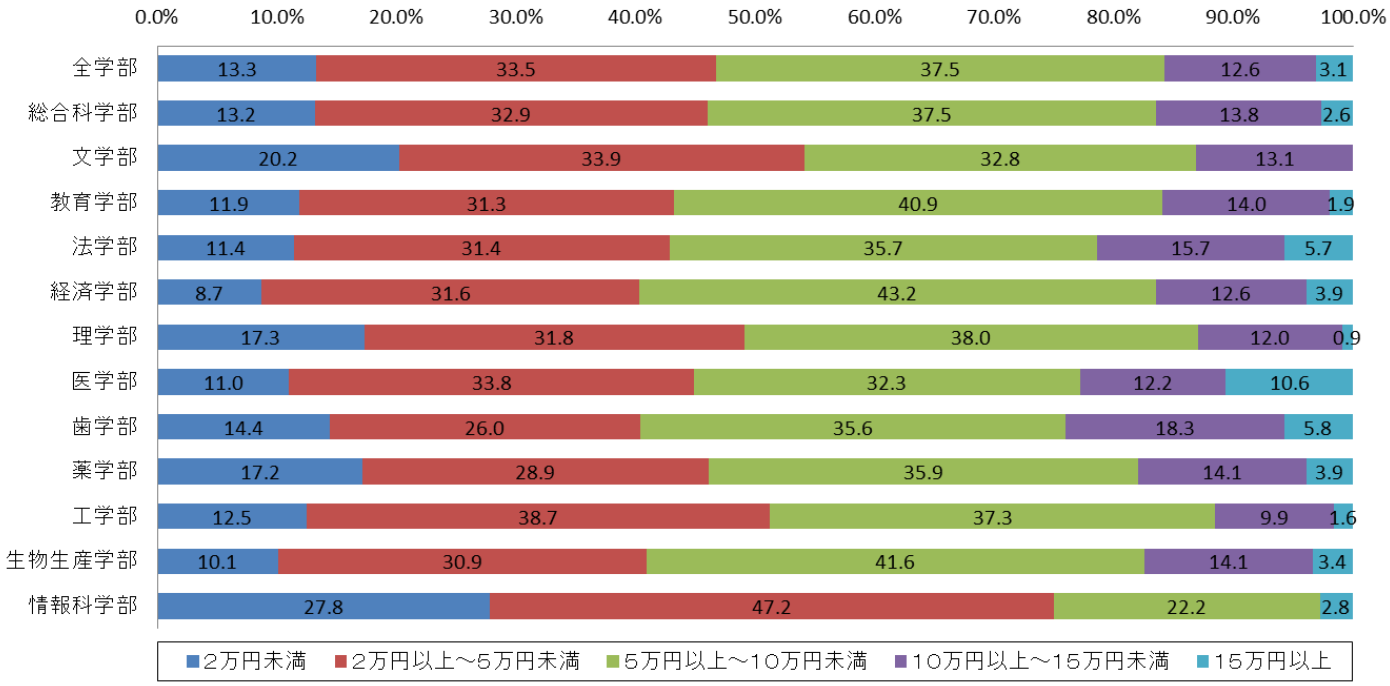
大学構内でくつろいで過ごせる場所は，全体では「食堂・喫茶・売店等の福利施設」（41.5%），「図書館」（36.1%），「学生プラザ１階等のフリースペースや多目的室」（23.4%）「研究室・実験室等」（16.5%），の順である。東広島キャンパスでは，教育学部・経済学部・工学部・生物生産学部生を除き，福利施設より図書館でくつろげると回答した学生が多い。くつろげる場所がないと回答した学生も，15.0%いる。



8　１ヶ月の生計費（収入・支出）

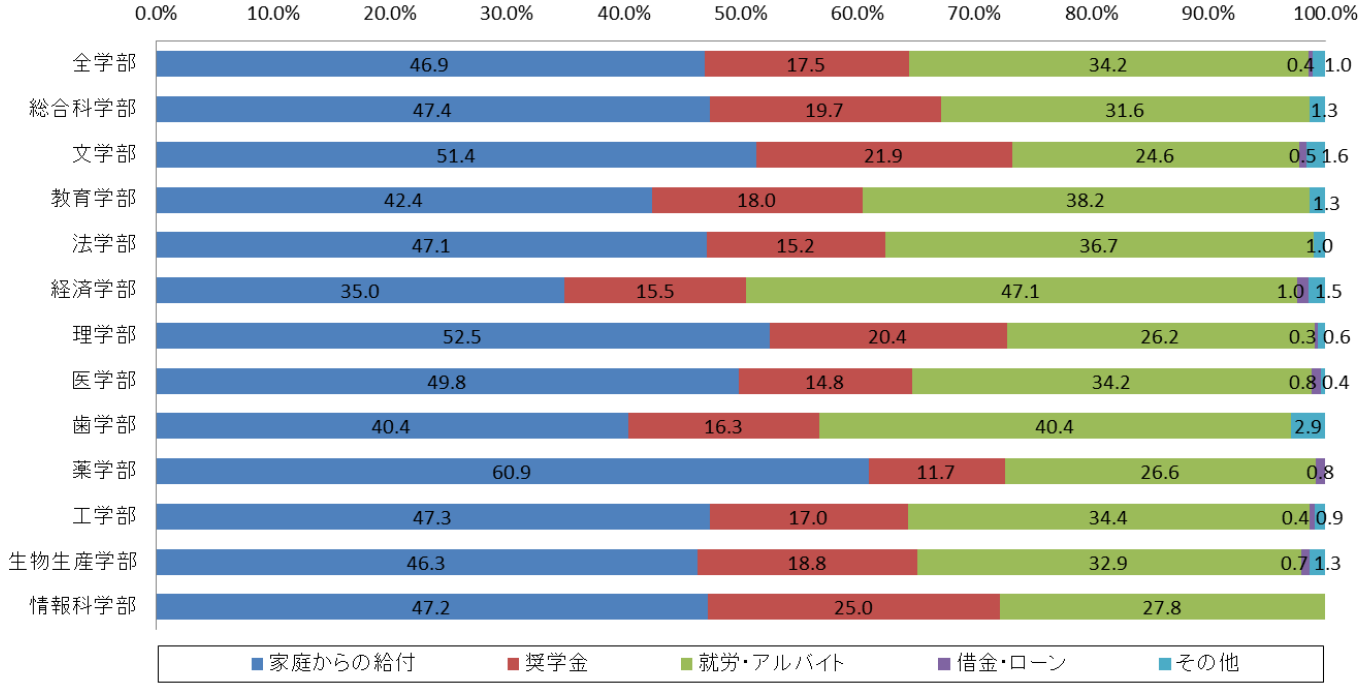
設問 12　１ヶ月の収入はいくらですか。

ほとんどの学部で，2 万円以上～5 万円未満，5 万円以上～10 万円未満が多い。おそらくは金額が高くなるほど，家庭からの給付が増えているということかもしれない。情報科学部においては 2 万円以上～5 万円未満が約半数を占めているが，この意味するところは必ずしも明確ではない。おそらくは自宅生が半数弱であるということか。



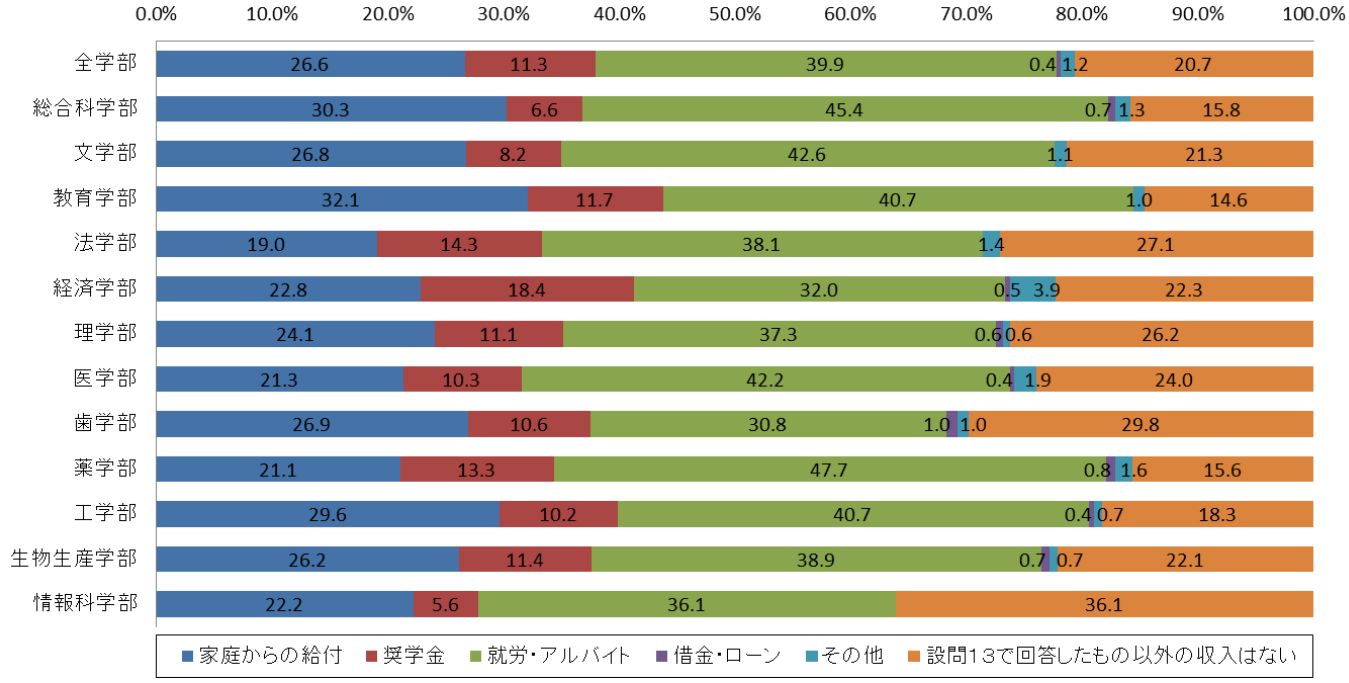
設問 13　1 ヶ月の収入のうち，1 番多い収入は，次のどれですか。

割合にそれなりに違いはあるが，ほとんどの学部で家庭からの給付が最も多い。特に下宿生はそうであろうと推測される。　加えて，就労・アルバイトによる収入が 2 番目に多いが，特に，経済学部は最も多く(47.1%)，ほとんどの学部で両者は拮抗している。奨学金の割合はそれらに比べると少ない。難しいであろうが，奨学金の割合を増加させ，就労・アルバイトの割合を減少させることが望ましいのではないか。



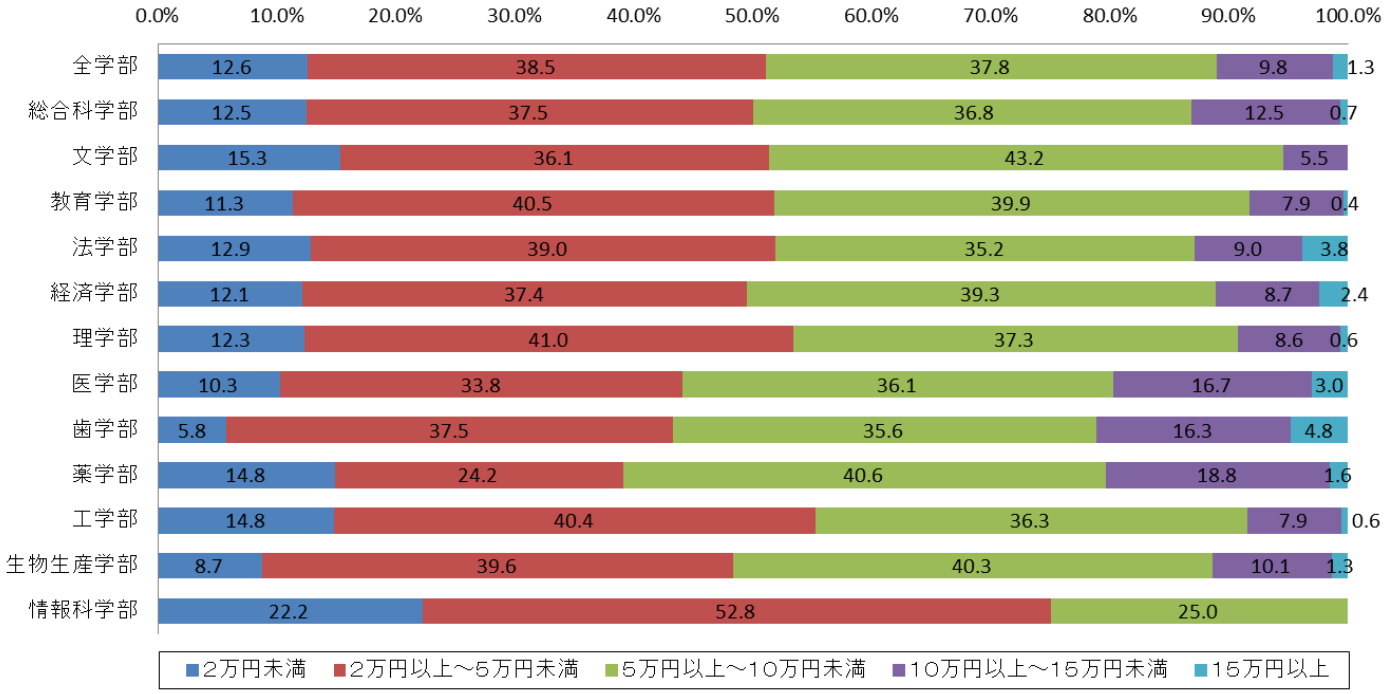
設問 14　1 ヶ月の収入のうち，2 番目に多い収入は，次のどれですか。

ここでいずれの学部も就労・アルバイトによる収入が最も多くなっている。その収入が大学生の重要な収入源になっていると言える。また設問 13 で回答した収入の他はないという回答もそれなりの割合を占めている。したがって収入源が 1 つしかない場合もあり(特に情報科学部でそれが顕著である。36.1%)，それが家庭からの給付，奨学金である場合，勉学に集中可能であることになる。



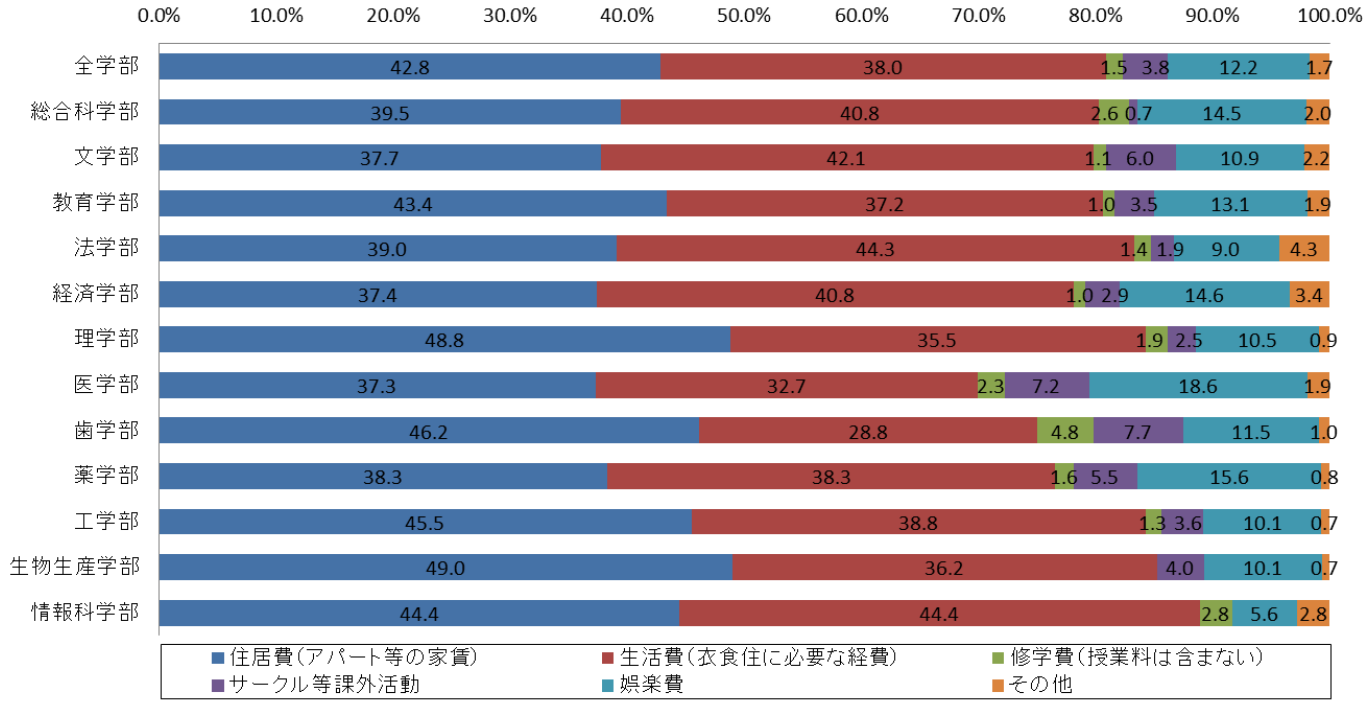
設問 15　1ヶ月の支出はいくらですか。

いずれの学部も 2 万円以上～5 万円未満，5 万円以上～10 万円未満が最も多い。ここに授業料も含まれるとすれば，授業料の他にも多少なりとも支出する余裕があることになる。加えて，情報科学部，工学部，理学部，教育学部において，2 万円以上～5 万円未満の割合が 4 割を超えており，特に，理系学部の学生が比較的経済的に逼迫しているとすれば要支援ではないか。



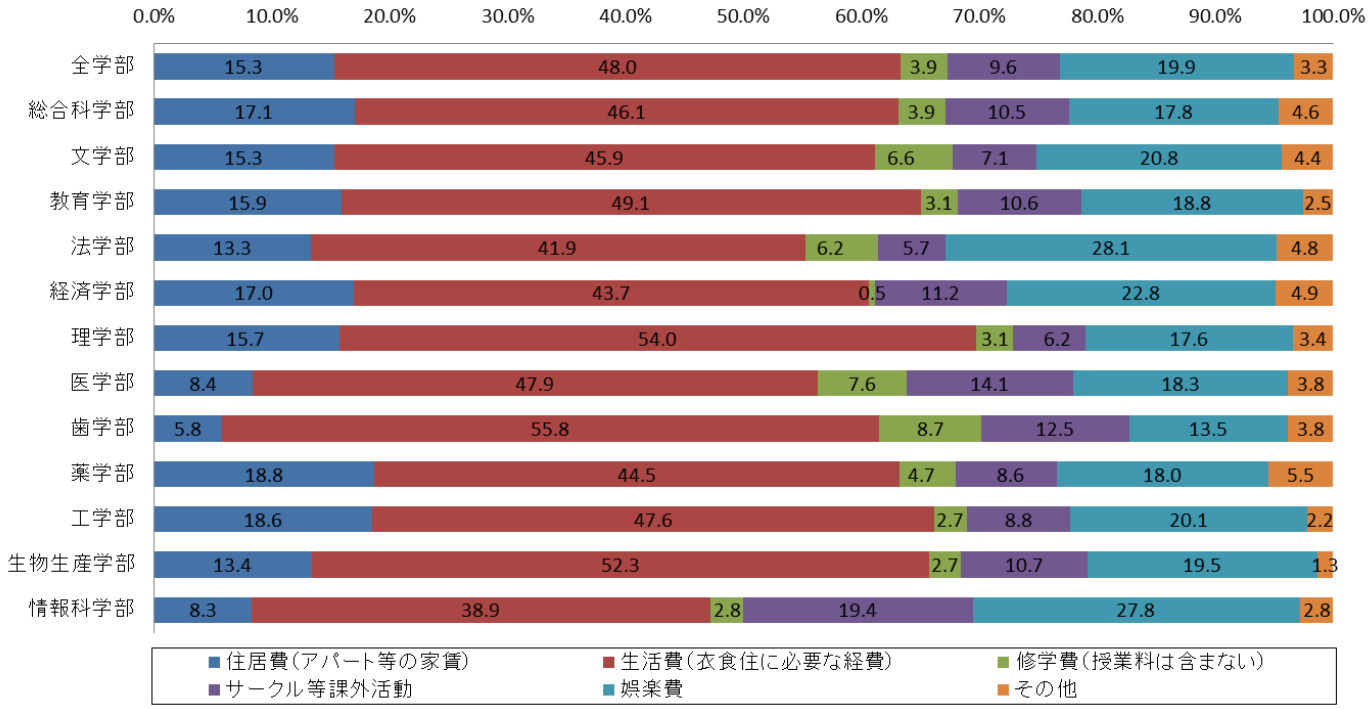
説問 16　1ヶ月の支出のうち，1番多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

いずれの学部も住居費，生活費で多くの割合を占めている。その反面，修学費の割合は極めて少ない(1%台から 2%台)。これは大学において，自ら金銭的負担を負わず，利用できる教材等が充実していることを示すとも言えるのではないか。娯楽費・サークル活動費の合計割合もそれなりにあり，種々の要因で経済的に余裕のある学生も存在する。



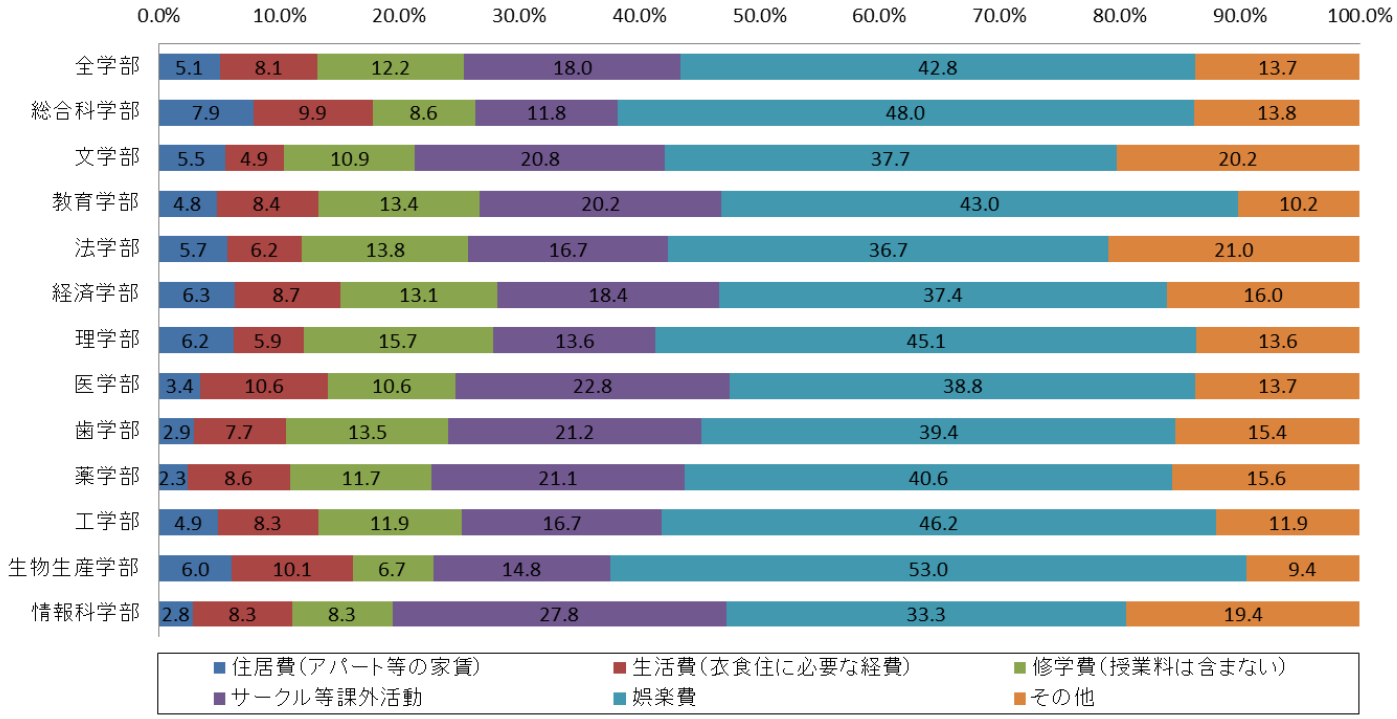
設問 17　1 ヶ月の支出のうち，2 番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

いずれの学部も生活費の割合が最も多い。住居費が 2 番目に多い支出の割合がそれに比して少なく，さらに，娯楽費・サークル活動費の割合も設問 16 の回答に比し高くなっており，結局，下宿生にとっては，住居費の負担が最も重いことが示唆される。



設問 18　1 ヶ月の支出のうち，3 番目に多く必要とする経費は何ですか。ただし，授業料は含みません。

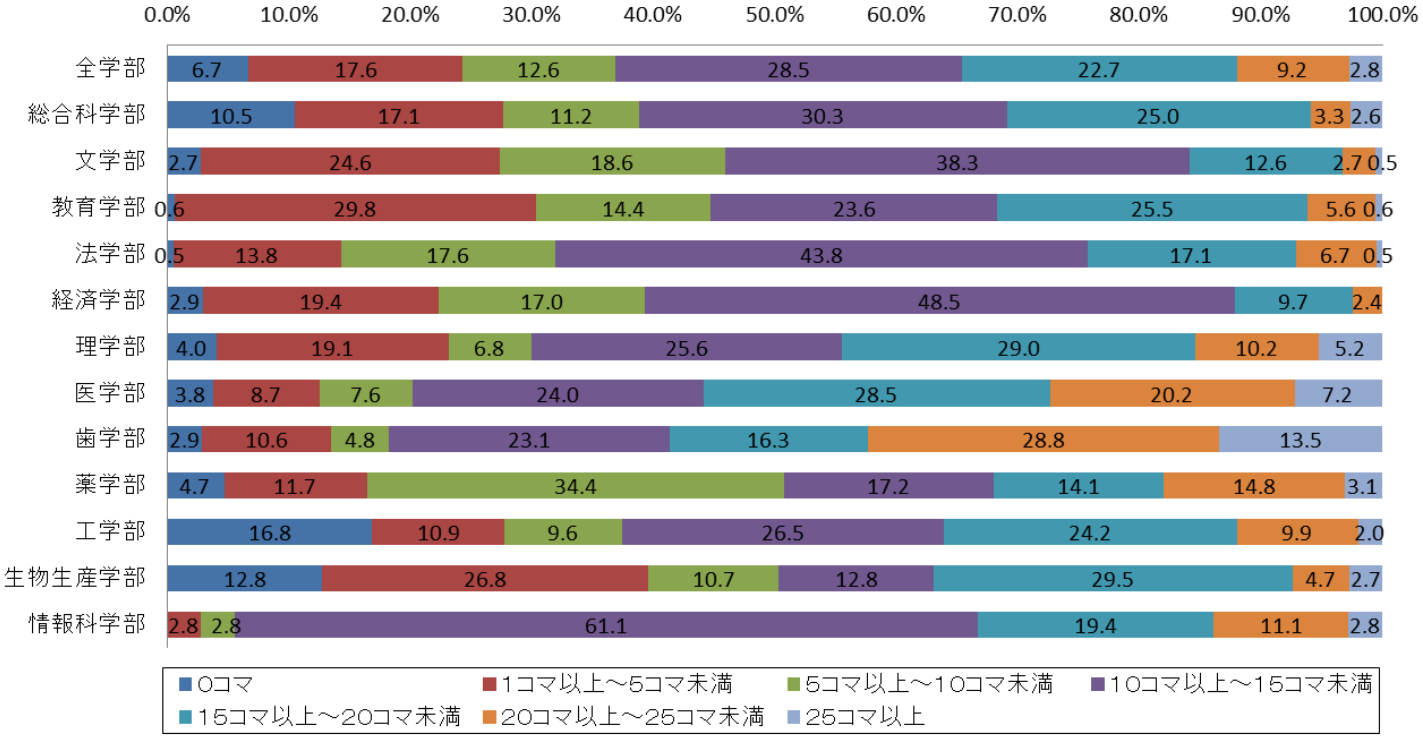
娯楽費・サークル活動費の割合は，設問 16，17 に比し，さらに高くなっている。広島大学の学部生は娯楽・サークル活動にもそれなりに取り組んでいるとも言える。しかし，その際に，住居費，生活費が優先順位の高い支出であることが多いので，広島大学学生の行動は生活第一，そしてその他の余裕の枠内で娯楽，サークルに取り組む傾向があり，健全な学生生活をおくっていると考えられる。



9　1週間の学習時間

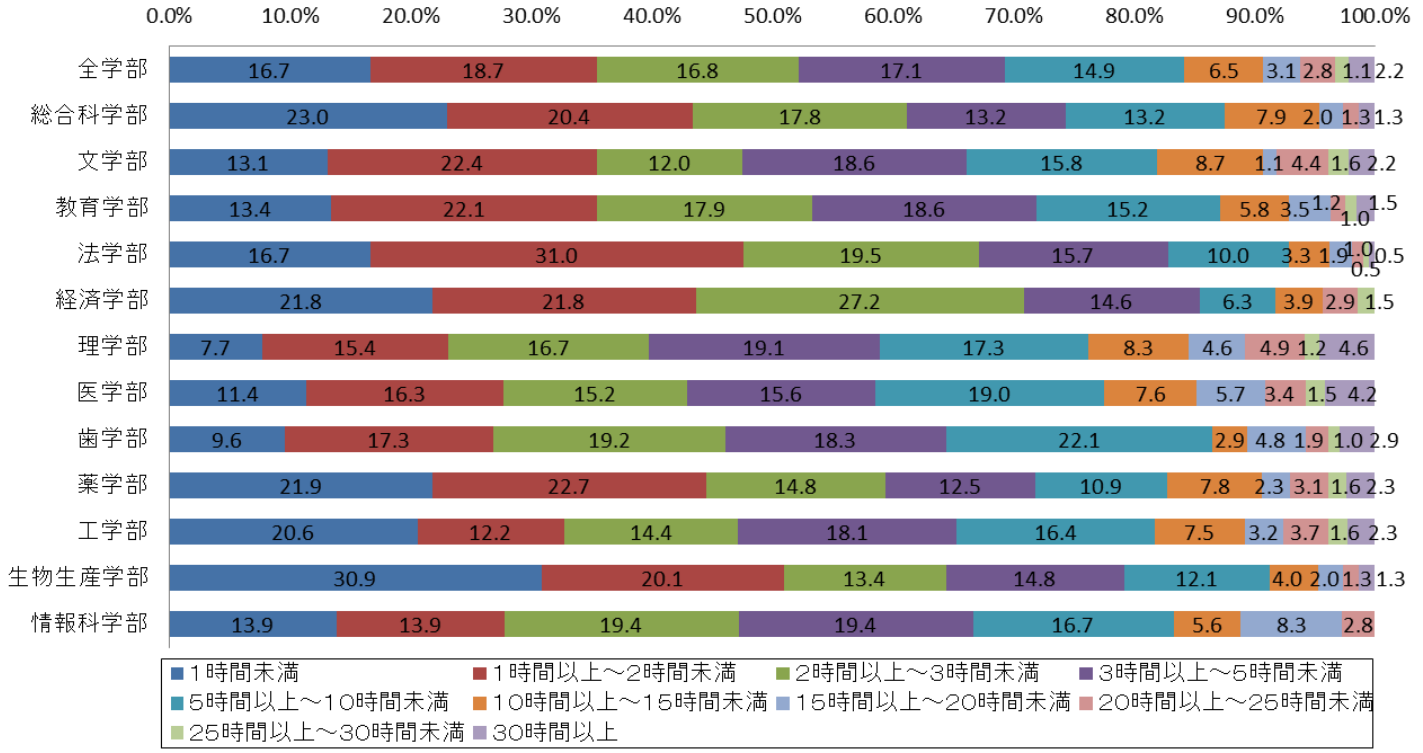
設問 19　授業期間中，平均して 1 週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）への出席にあてていますか。

学年別，必修の数などに配慮した分析を検討する必要はあるが，15 コマ以上を目安に検討すると，理学部・医学部・歯学部において，授業への出席に多くの時間をあてている学生が多い。



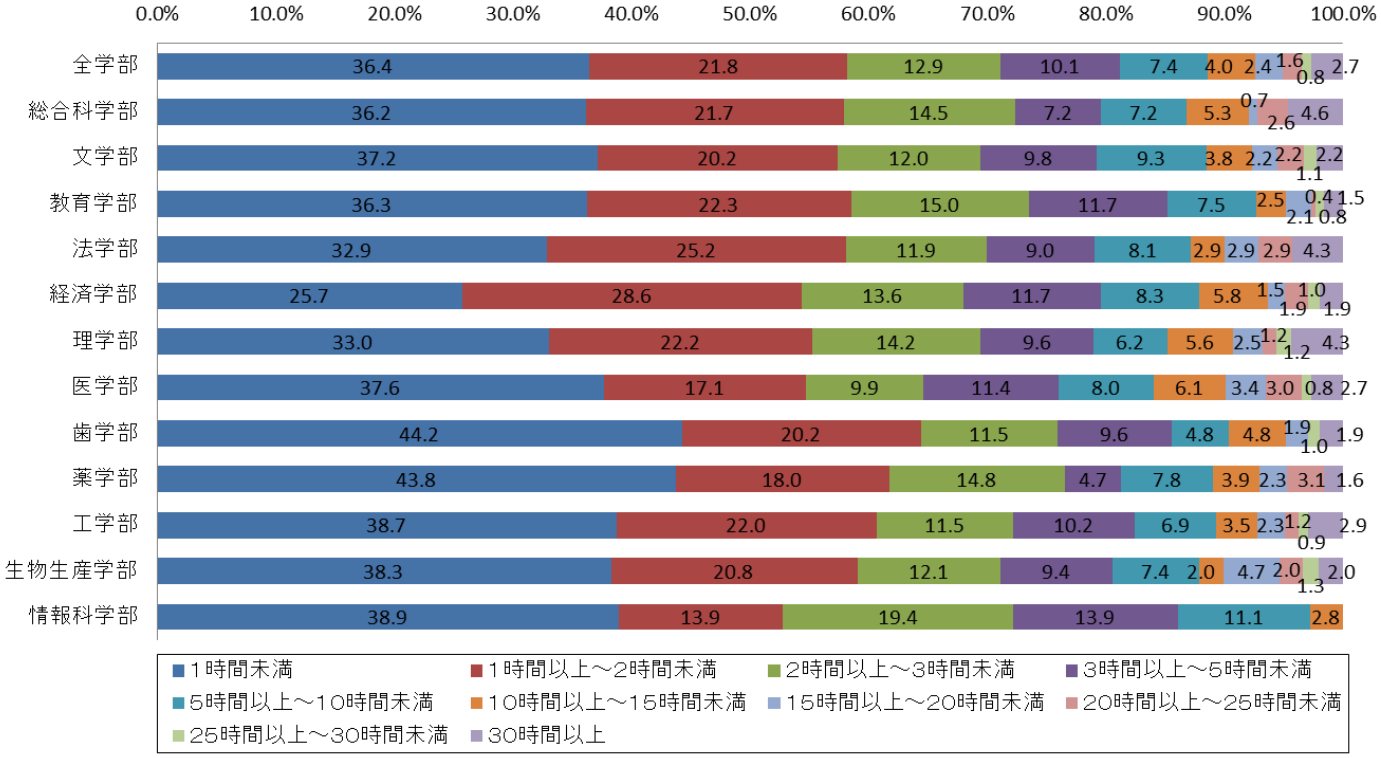
設問 20　授業期間中，平均して 1 週間でどれくらいの時間を授業（講義・演習・実験・実習若しくは実技）の課題，準備・復習にあてていますか。

3 時間以上を一つの目安としてみると，理学部・医学部において，授業の課題，準備・復習に 3 時間以上あてている学生が多い。歯学部，工学部，文学部，情報科学部の学生が上記学部に次いで多いことがわかる。



設問 21　授業期間中，平均して 1 週間でどれくらいの時間を授業とは関係のない自主的な学習にあてていますか。

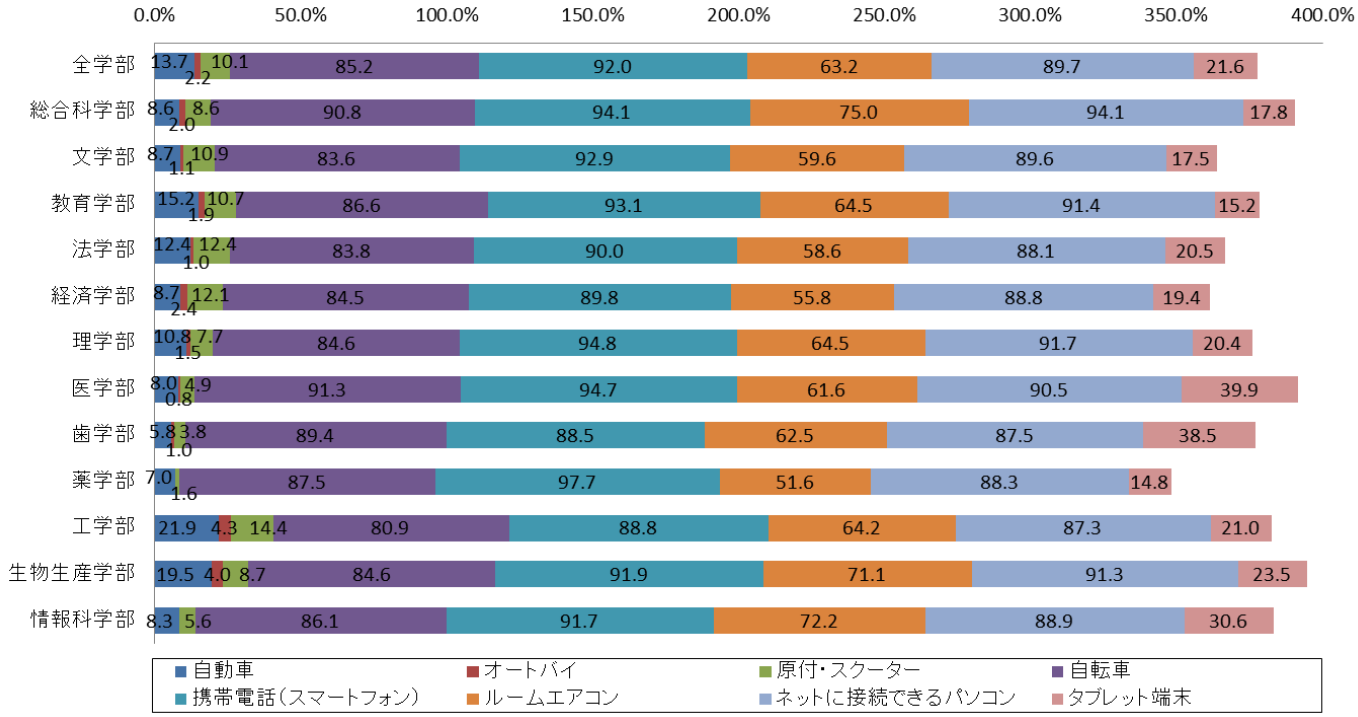
3 時間以上を目安とすると，いわゆる理系の学部，すなわち理学部，医学部，歯学部，工学部，情報科学部において，授業とは関係のない自主的な学習に 3 時間以上あてている学生が多い。



１０　所有もしくは占有している物

設問 22　所有もしくは専用物がありますか。（複数回答可）

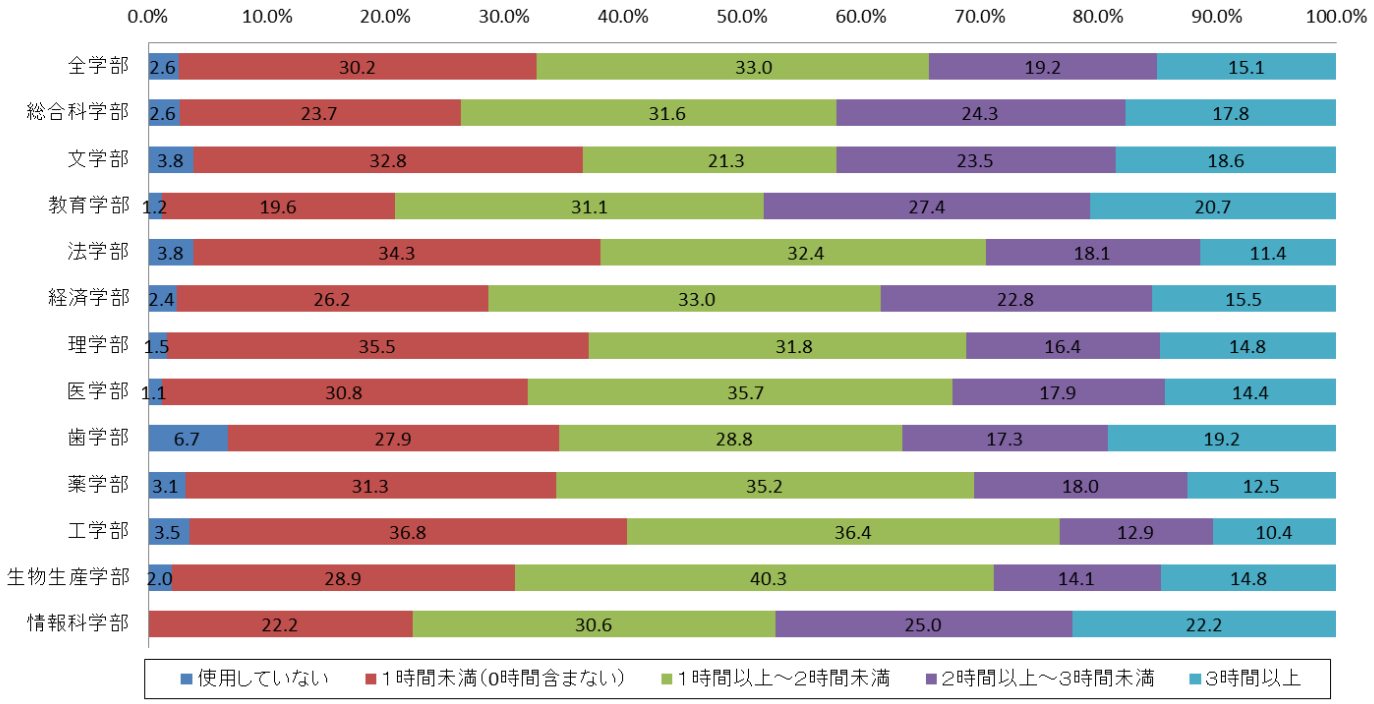
所有率をみると，移動手段としては，「自転車」（85.2%），「自動車」（13.7%），「原付・スクーター」（10.1%）の順である。「携帯電話」（92.0%），「ネットに接続できるパソコン」（89.7%）の所有率は相当に高く，「タブレット端末」の所有率は（21.6%）である。



１１　Social Network Service の使用状況について

設問 23　Facebook・Instagram・LINE・Twitter 等の SNS（Social Network Service）を１日でどれくらいの時間使用していますか。

全体として，SNS を「使用していない」学生は2.6%であり，前回（平成29 年度）の（2.6%）と同様である。使用時間が1 時間以上の学生は67.2%であり，全体として，1 日のかなりの時間をSNS に費やしているといえる。

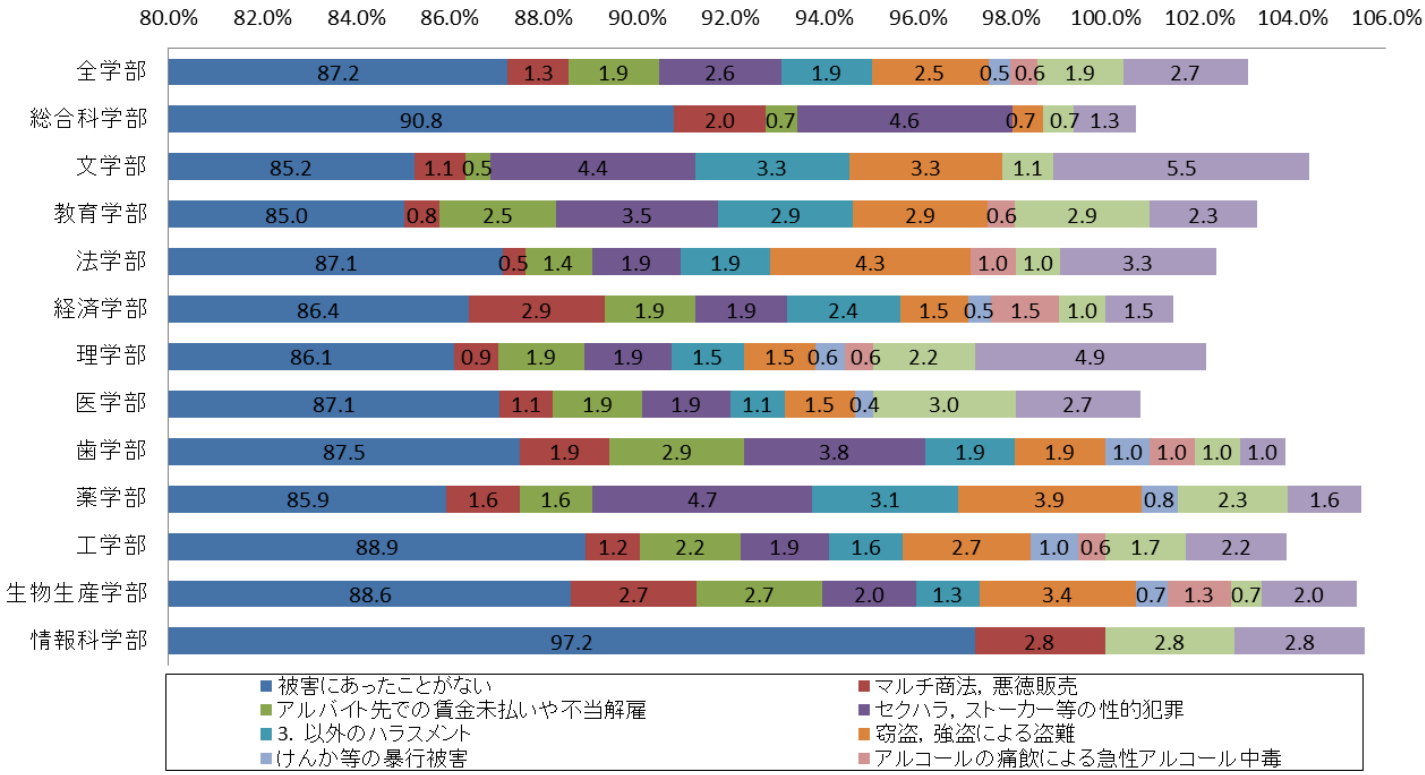


１２　犯罪やトラブルなどの被害経験　（複数回答可）

設問 24　学生生活において，何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。

全体として，何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがある学生は12.8%であり，前回（平成29年度）（14.9%）と同様である。被害・トラブルの状況について，全体として，「セクハラ，ストーカー等の性的犯罪」（2.6%），「窃盗，強盗による盗難」（2.5%），「アルバイト先での賃金未払いや不当解雇」・「3，以外のハラスメント」・「インターネット上のトラブル」（1.9%）の順である。

※　グラフの目盛りの最小値は 80%



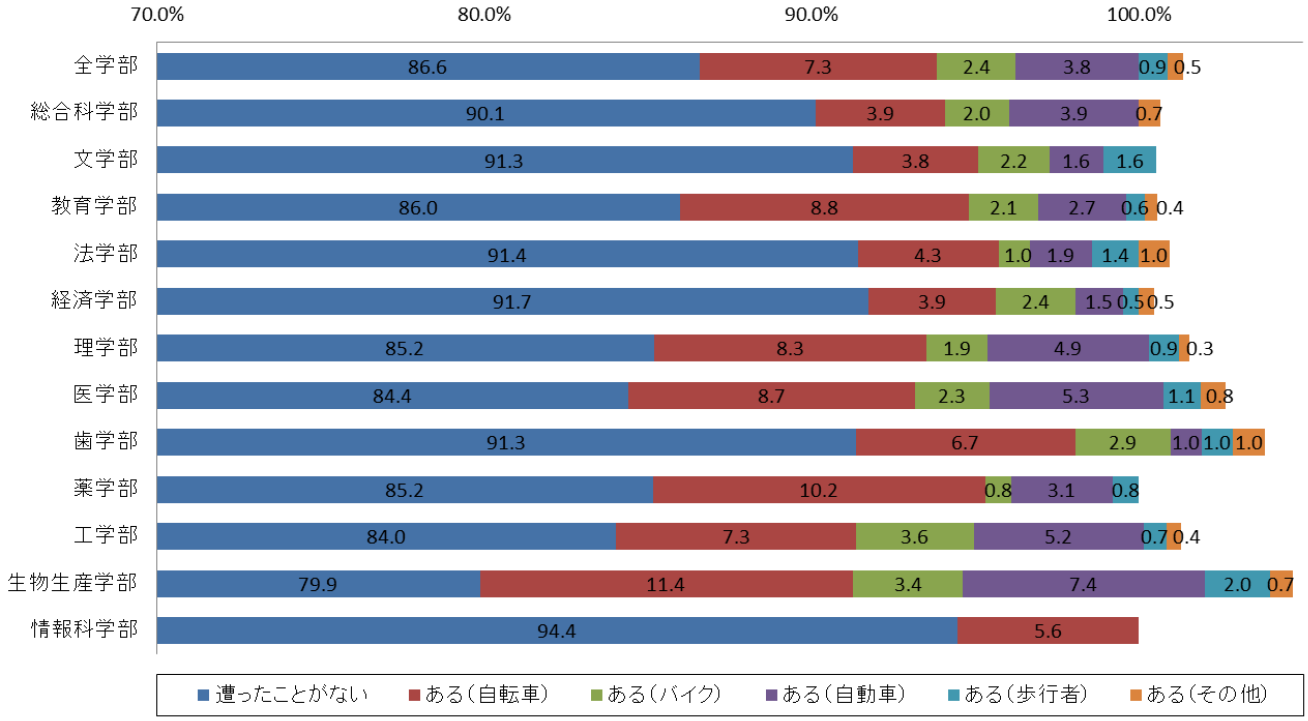
１３　交通事故の経験

設問 25　在学中交通事故に遭ったことがありますか。（複数回答可）

全学部合計では，在学中交通事故遭遇の割合は約13%であり，その半数以上を自転車事故が占める。

前回（平成29年度）と比較して自転車事故は減少が見られるが，バイク事故と自動車事故を合計した遭遇割合も依然として5%を超えており，一層の注意を呼び掛けたい。

※　グラフの目盛りの最小値は 70%

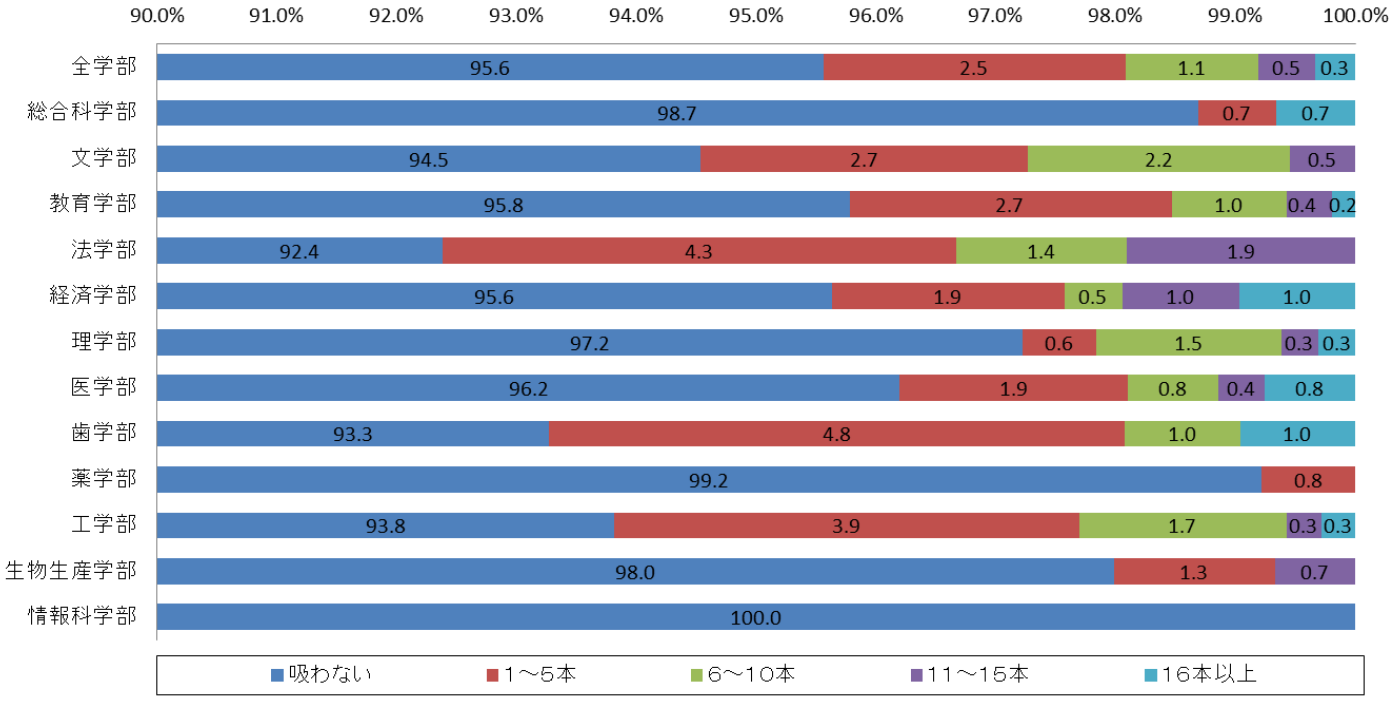


１４　喫煙及び飲酒の習慣

設問 26　喫煙の習慣がありますか。1 日に吸う本数をお答えください。

習慣的に喫煙している者の割合は 4.4%であった。これまでの調査から喫煙習慣のある者の割合は，7.0%(H20)，5.9%(H22)，3.9%(H24)，3.6%（H26)，3.4%(H29)と年々減少していたが，前回と比べると若干増加している。

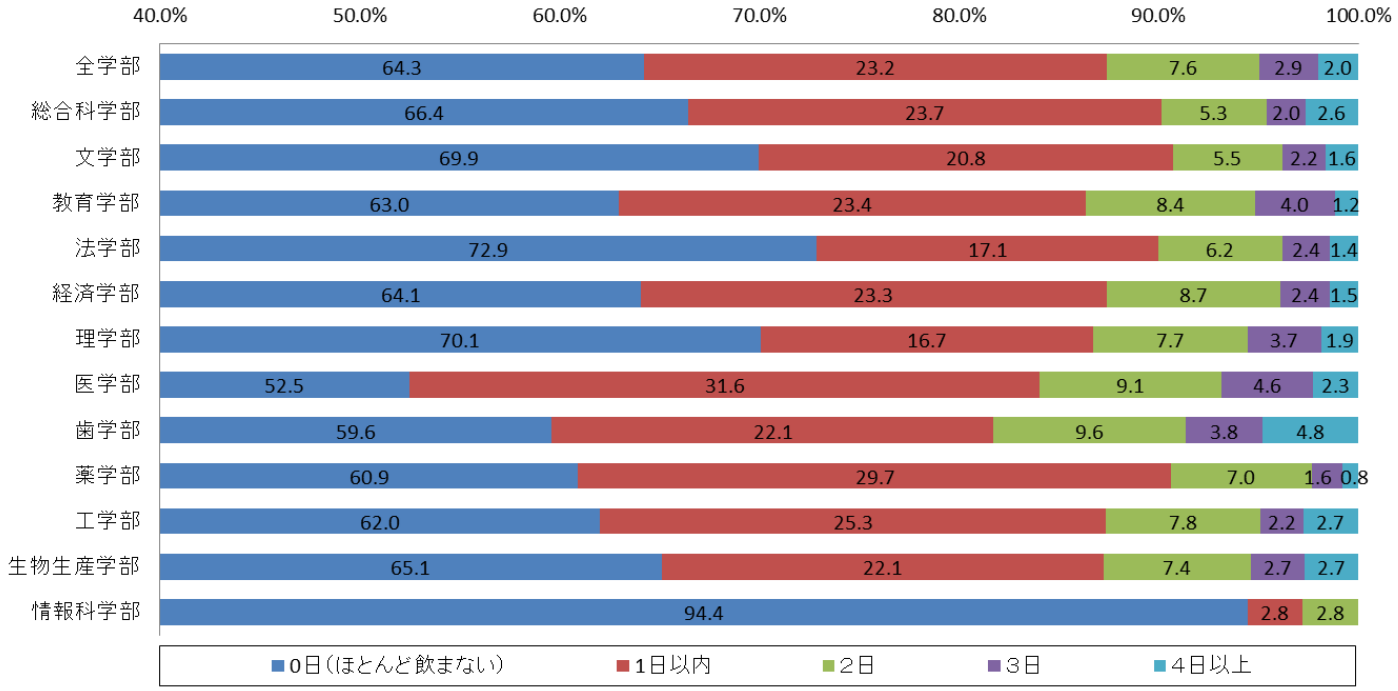
※　グラフの目盛りの最小値は 90%



設問 27　飲酒の習慣がありますか。1 週間に飲む日数でお答えください。

全体として，64.3%の学生はほとんど飲酒しないと回答している。週 3 日以上飲酒習慣のある者の割合は 4.9%であり，前回 5.2%(H29)とほぼ同様であった。

※　グラフの目盛りの最小値は 40%

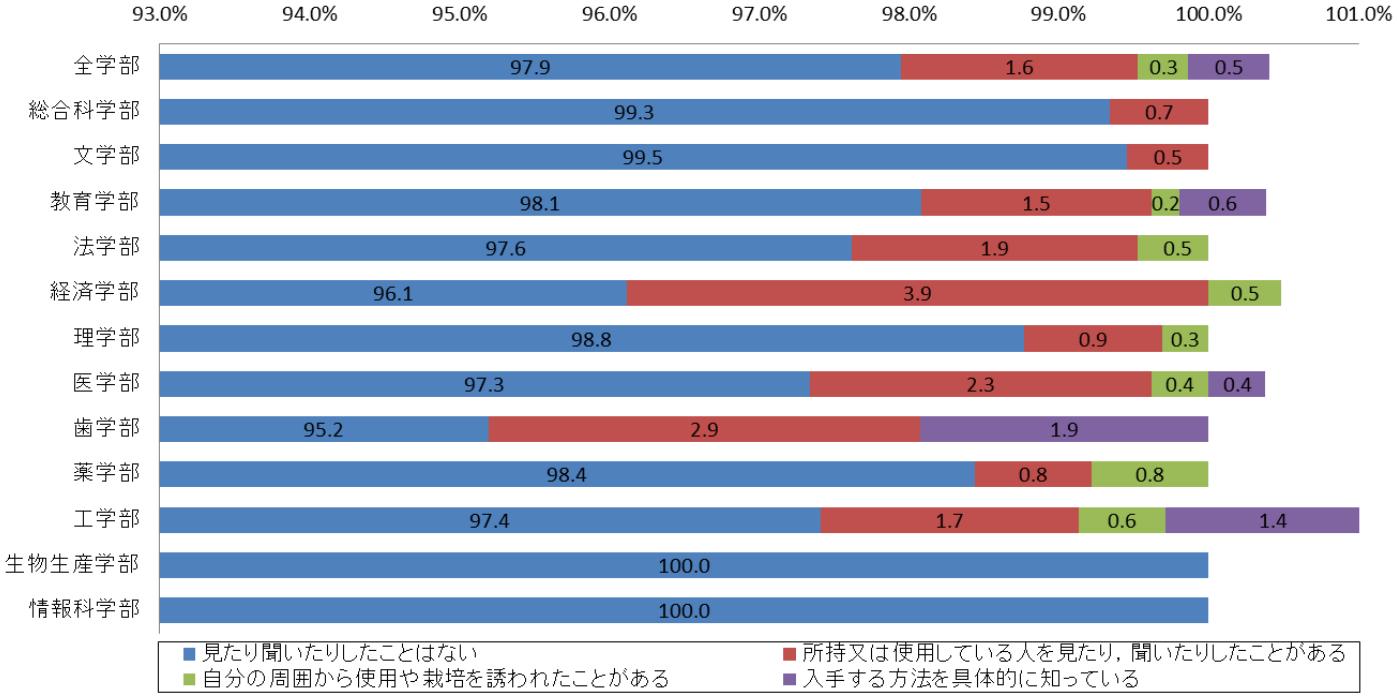


１５　薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について

設問 28　薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について，該当するものを選択してください。（授業・研究目的のものは除く）（複数回答可）

全体としては 97.9%が「見たり聞いたりしたことはない」と回答しており，前回 98.1%(H29)，前々回 98.0%(H26)と同様の結果であった。しかしながら，「自分の周囲から使用や栽培を誘われたことがある」，「入手する方法を具体的に知っている」にあるという回答もあり，注意が必要である。

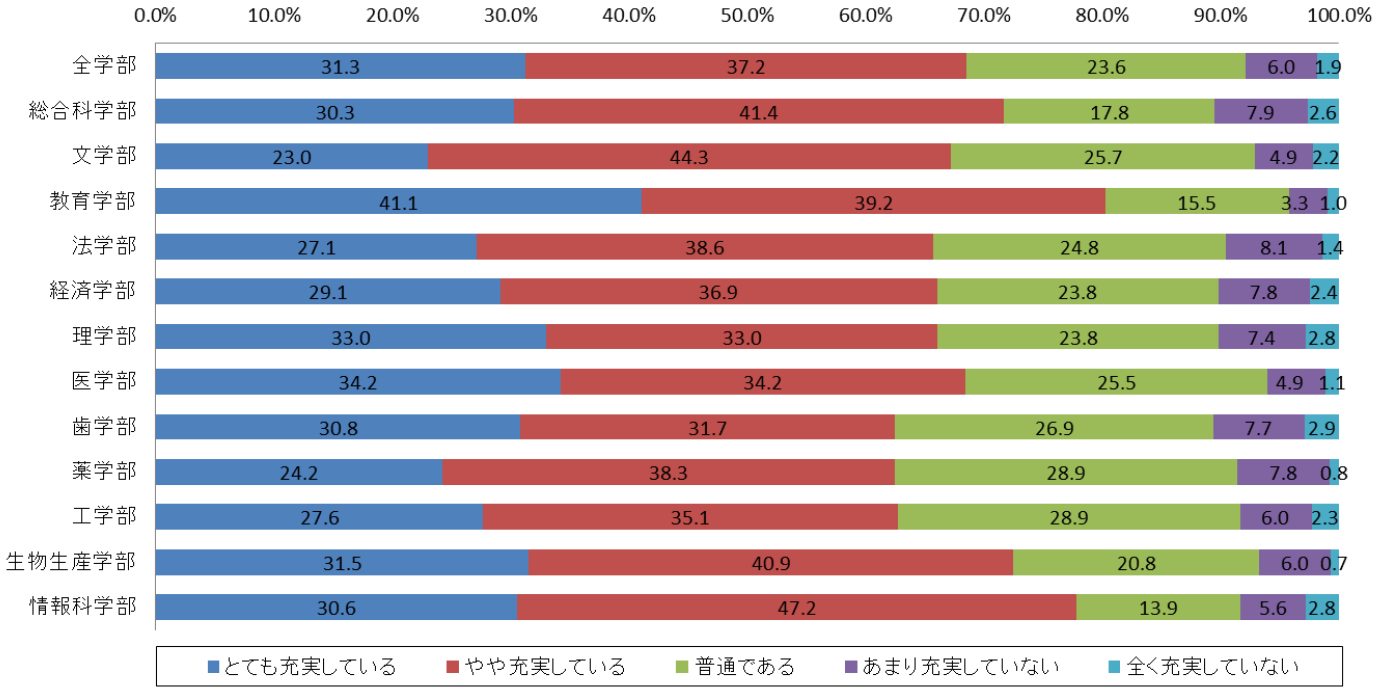
※　グラフの目盛りの最小値は 93%



１６　授業以外の学生生活の充実度

設問 29　授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。

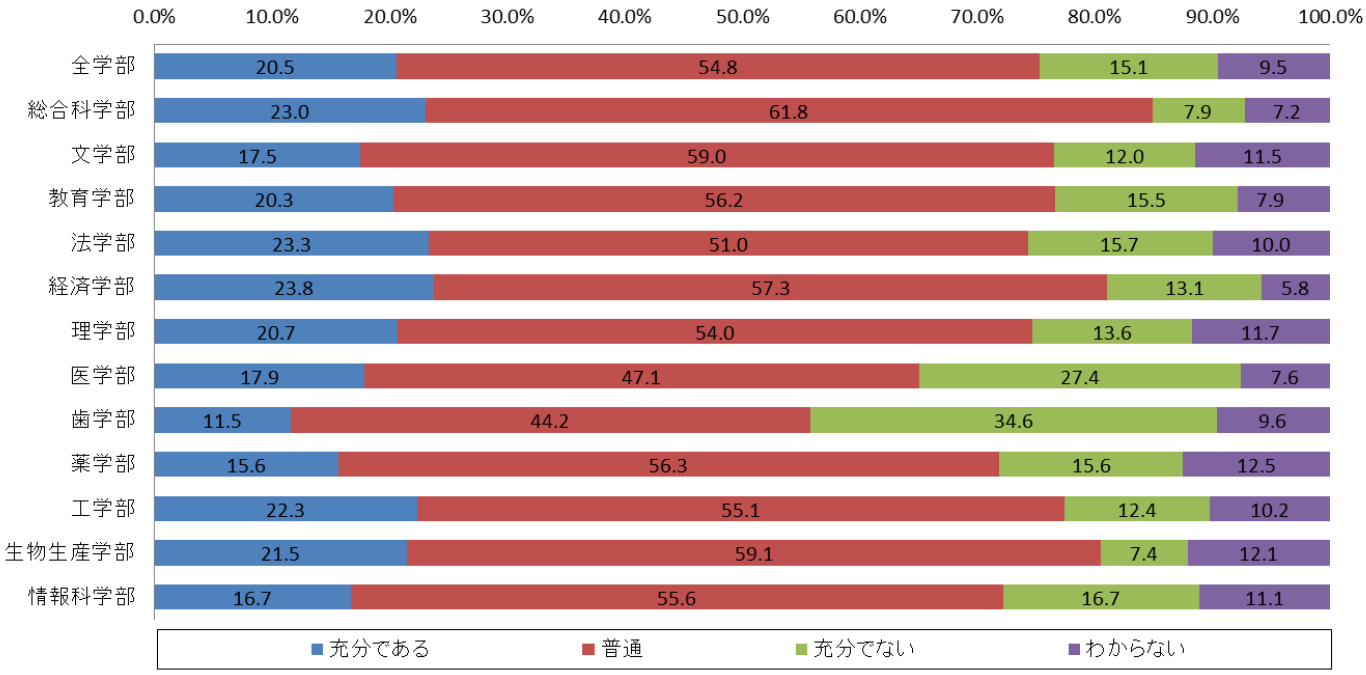
教育学部，情報科学部「とても充実している」「やや充実している」と回答した学生の割合が突出しており，教育学部は 80%を超え，情報科学部は 78%近くに達している，次いで生物生産学部の 73%，総合科学部の 72%となっている。これら学部の学生生活の充実度の要因を詳細に分析する必要があろう。



１７　授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

設問 30　授業以外の学生生活に関して，大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは，全般的に見て充分だと思いますか。

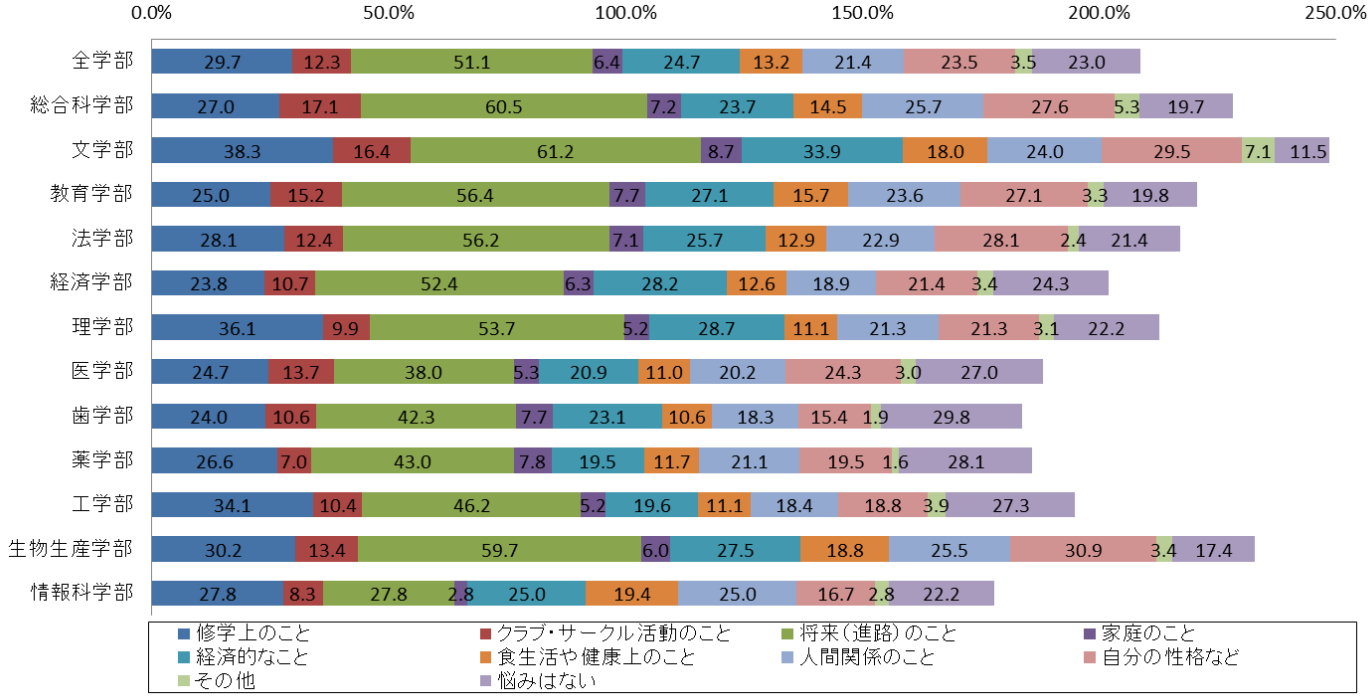
全般的に「十分である」「普通」と答えた学生の割合が 70%を超えているが，医学部・歯学部における学生の評価が異常に低い点が懸念される。



１８　学生生活の悩み

設問 31　学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）

学生生活上の悩みとして，全ての学部で「将来（進路）のこと」という回答が最も多く，全体として 51.1%と約半数が将来の不安を抱えている結果であった。医学部・歯学部・薬学部では他の学部に比べてその割合が低く，文学部と総合科学部では高かった。次に「修学上のこと」(29.7%)，「経済的なこと」(24.7%)，「自分の性格」(23.5%)，「人間関係のこと」(21.4%)と続き，これらの傾向は前回と同様であった。

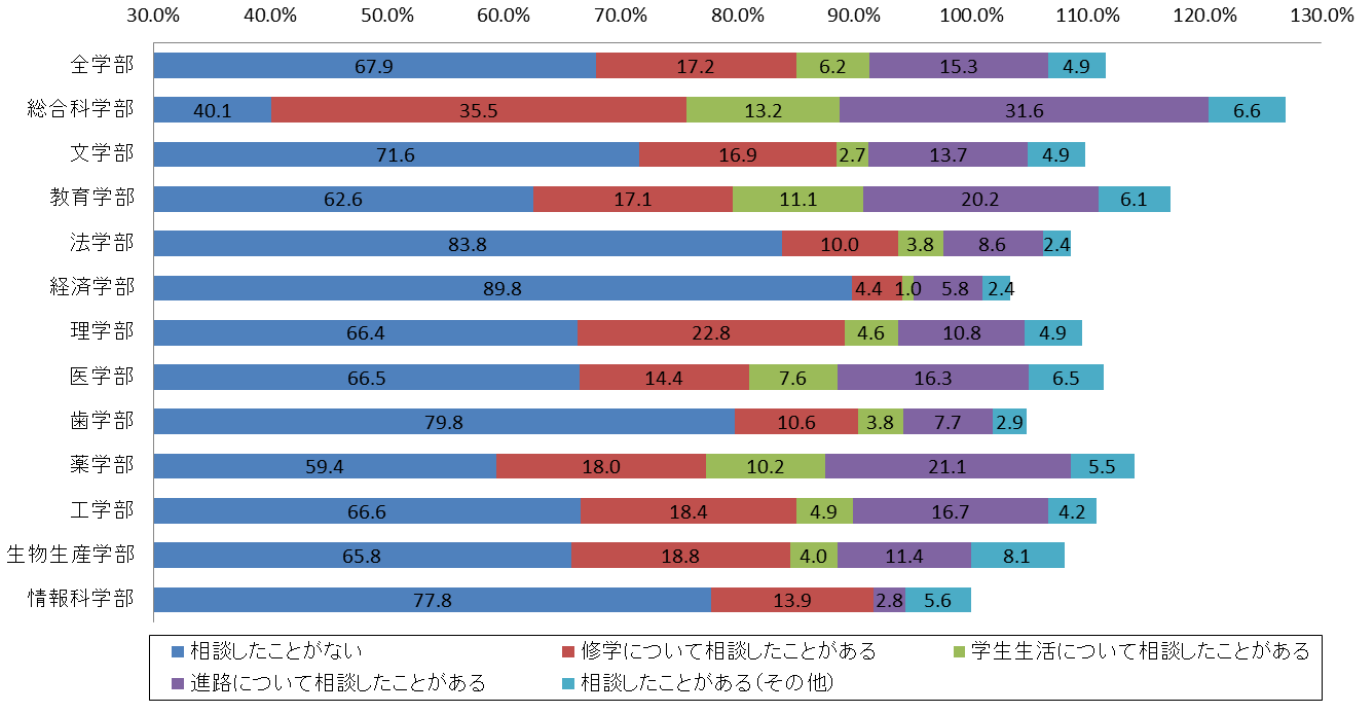


１９　相談内容と相談窓口

設問 32　修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが，チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は，相談内容を選択してください。（複数回答可）

全体としては３割強がチューターへの相談経験を有するという結果であったが，前回同様学部によってばらつきがあった。「相談したことがない」という回答が多かったのは，経済学部，法学部，歯学部，情報科学部であり，相談経験が最も多かったのは総合科学部であった。相談内容については，修学に関することと進路に関することが多く，前回同様の結果であった。

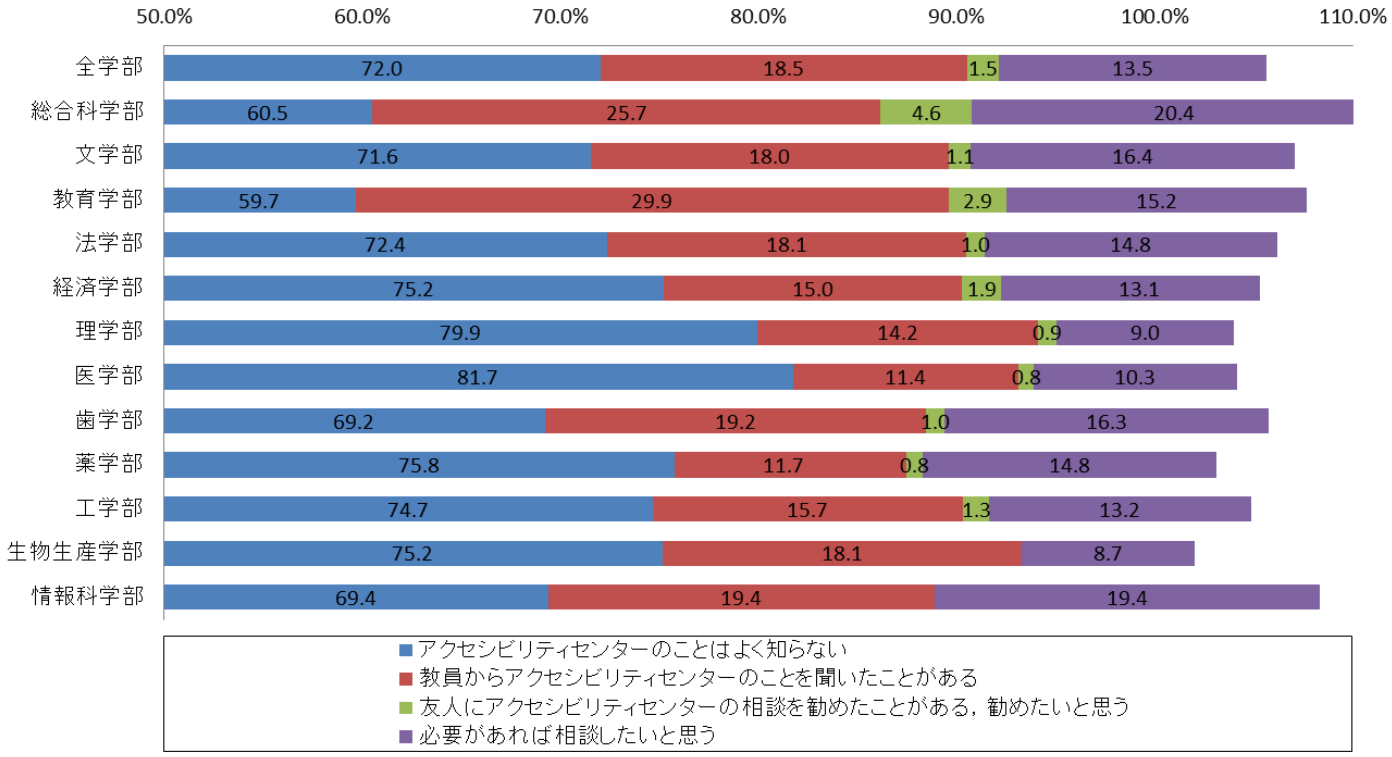
※　グラフの目盛りの最小値は30%



設問 33　アクセシビリティセンターについて伺います。（複数回答可）

アクセシビリティセンターについて，認知度に学部間で大きな違いがある。特に，医学部，理学部で不認知が顕著であることがうかがえる。また，そのせいか他人に利用を勧めた，勧めたいという学生の割合は極めて少ない。しかし，おそらくは自身で利用を考える学生の割合も一定数(約 10%～約 20%)存在することも着目すべきであろう。

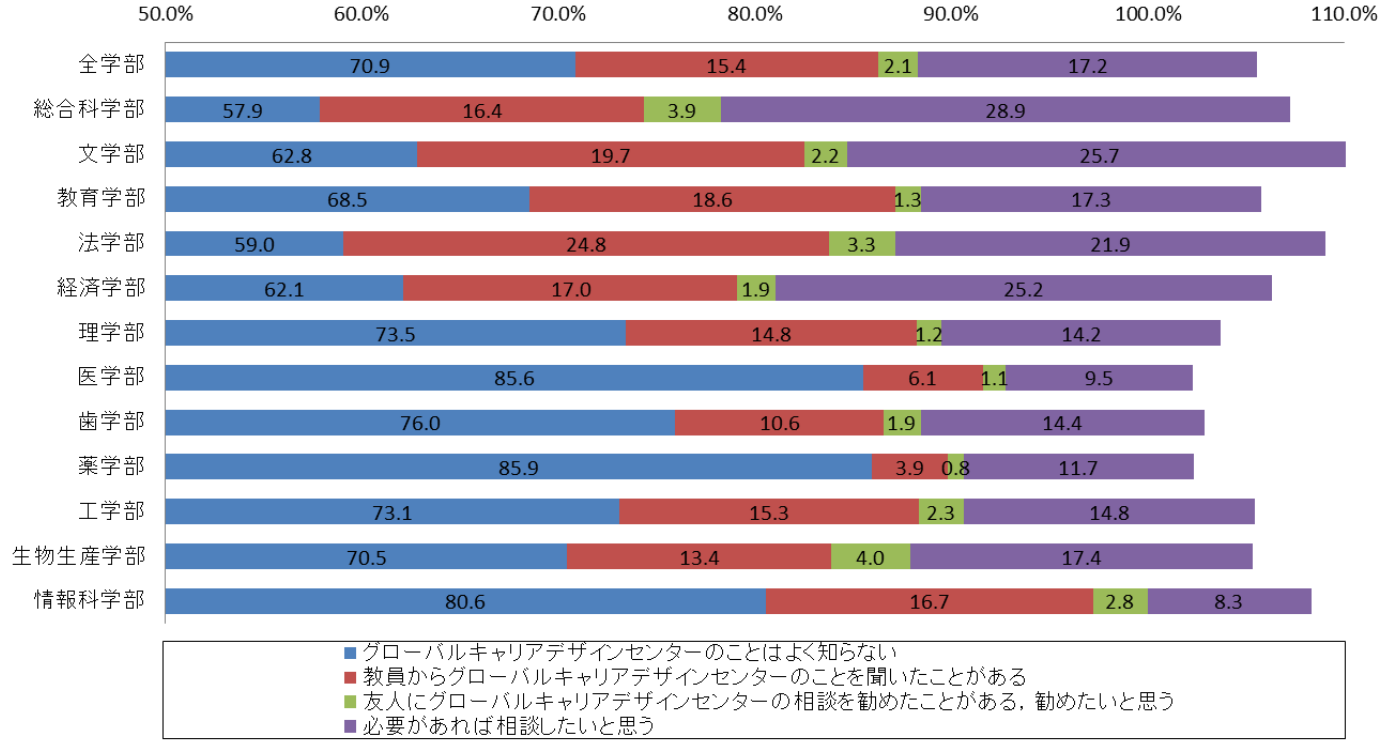
※　グラフの目盛りの最小値は 50%



設問 34　グローバルキャリアデザインセンターについて伺います。（複数回答可）

全体で７割を超える学生が，グローバルキャリアデザインセンターをよく知らないと回答している。その一方で必要があれば相談したいと思うと回答する学生も２割ほどいることがわかる。ガイダンスや授業などを通して，認知の拡大を図る必要が有る。

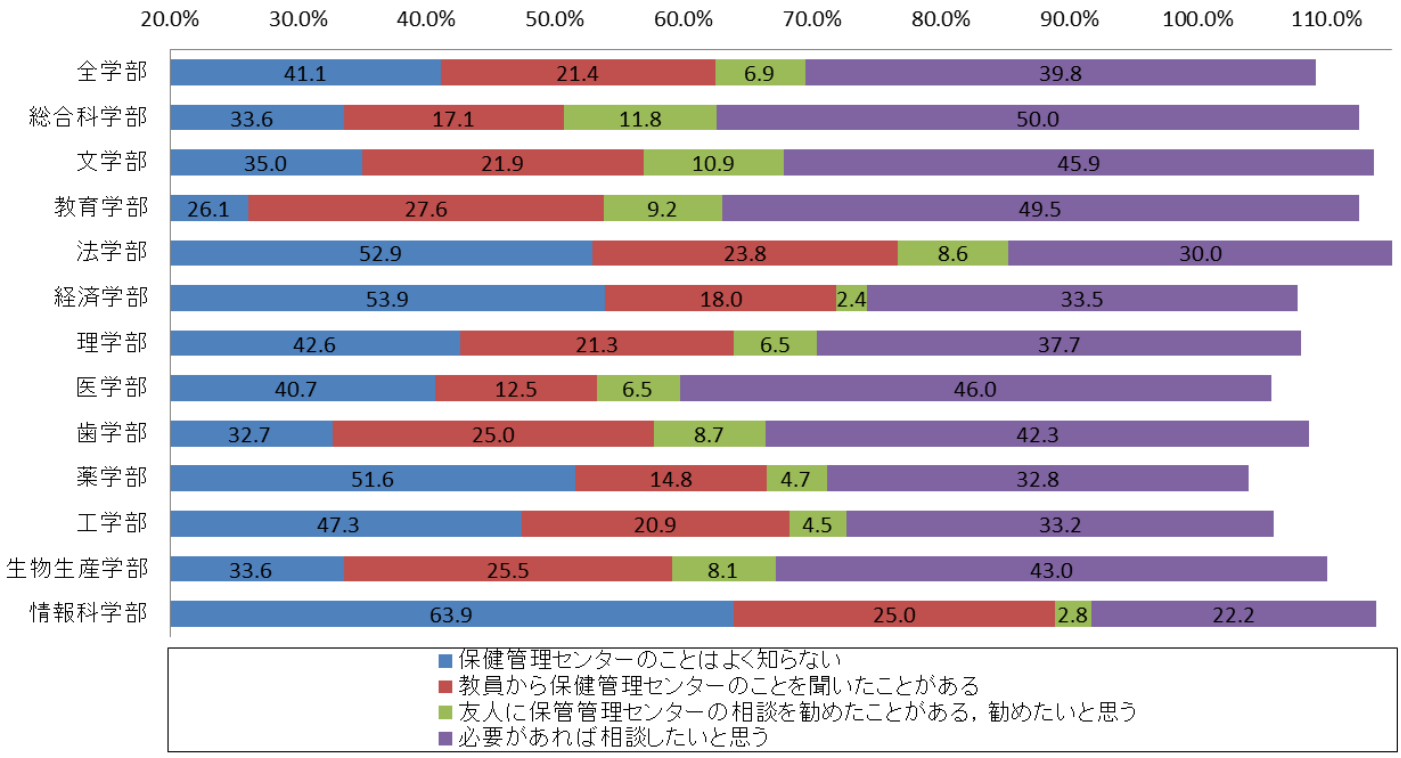
※　グラフの目盛りの最小値は 50%



設問 35　保健管理センターについて伺います。（複数回答可）

全体としては約４割が「保健管理センターのことはよく知らない」という結果であったが，学部によってばらつきがある。教育学部・歯学部・総合科学部・生物生産学部においては，よく知らないという回答は３分の１以下であったが，情報科学部，経済学部，法学部，薬学部では半数以上がよく知らないという結果であった。一方，「教員から聞いたことがある」は21.4%，「友人に保健管理センターの相談を勧めた・勧めたい」も6.9%あり，約４割が「必要があれば相談したい」と回答している。

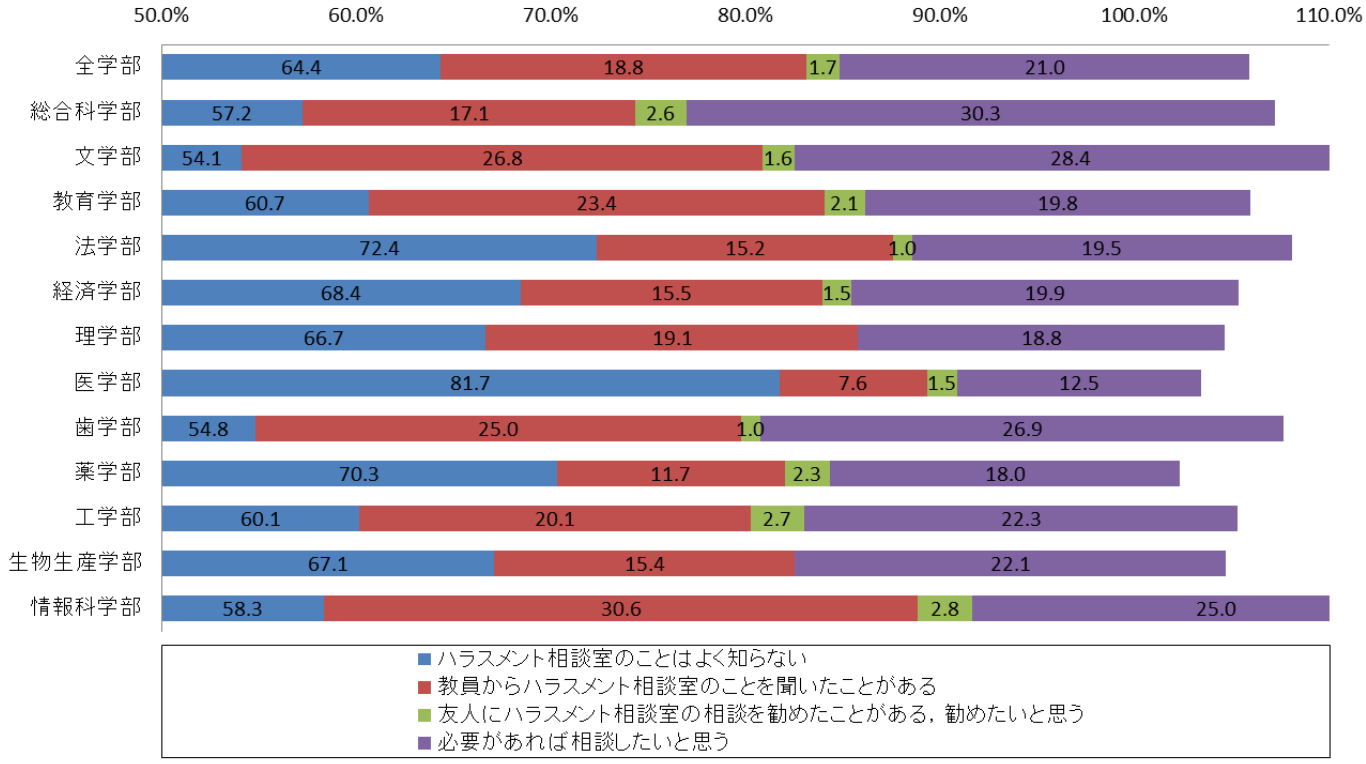
※　グラフの目盛りの最小値は20%



設問 36　ハラスメント相談室について伺います。（複数回答可）

どの学部についても，学生の二人に一人がハラスメント相談室のことはよく知らないと答えている点が懸念される。ハラスメント相談室の存在自体を知らないのか，それともハラスメント相談室の機能の詳細についてなのかは，この調査ではわからないので，その内実について今後詳しく検討するとともに，学生全体に対して，年度初めに定期的なガイダンスやオリエンテーションを実施するなどして，周知徹底を行う必要がある。

※　グラフの目盛りの最小値は50%

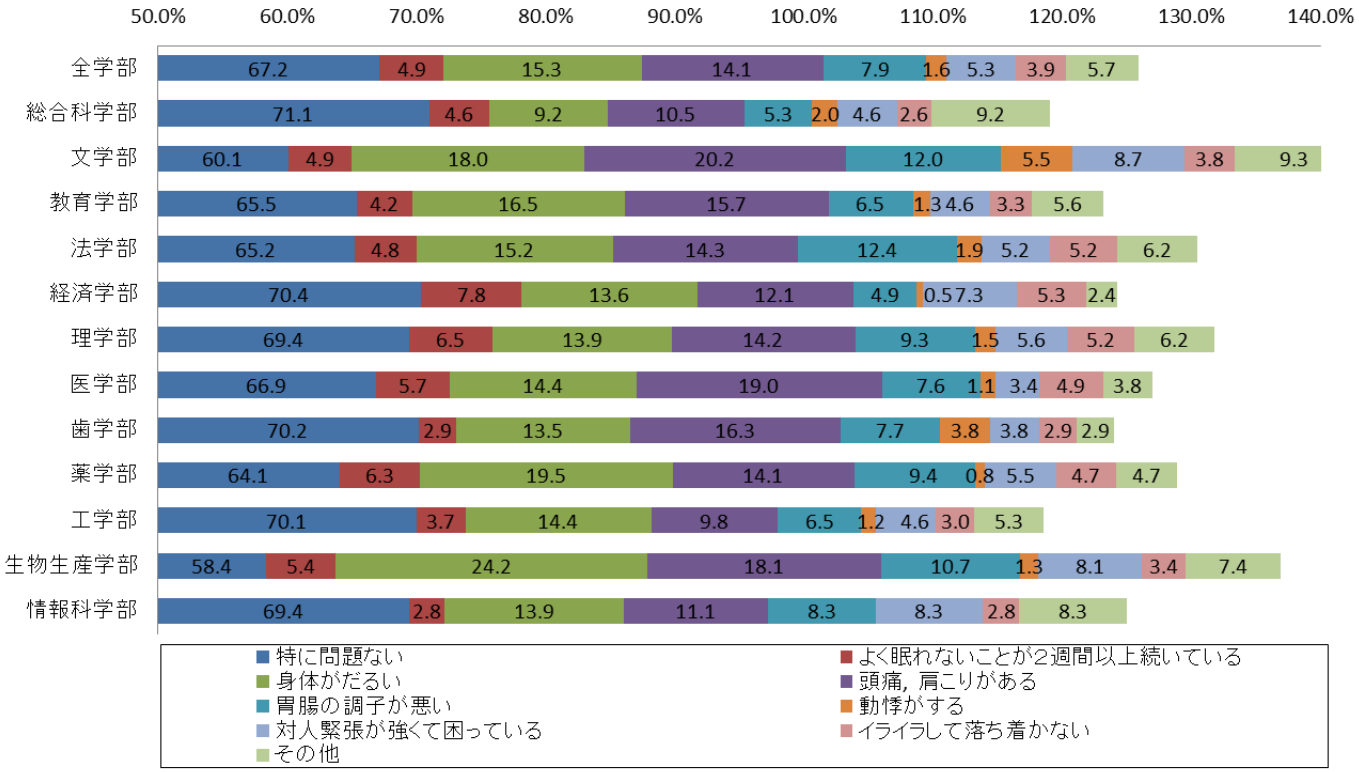


２０　現在の健康状態

設問 37　現在の健康状態はどうですか。（複数回答可）

全体として 67.2%が「特に問題ない」という回答であったが，前回(69.1%)に比べるとやや減少しており，また「２週間以上の不眠」4.9%（前回 4.4%），「身体がだるい」15.3%(前回 13.7%)，「頭痛・肩こり」14.1%（前回 13.6%）はいずれもやや増加している。

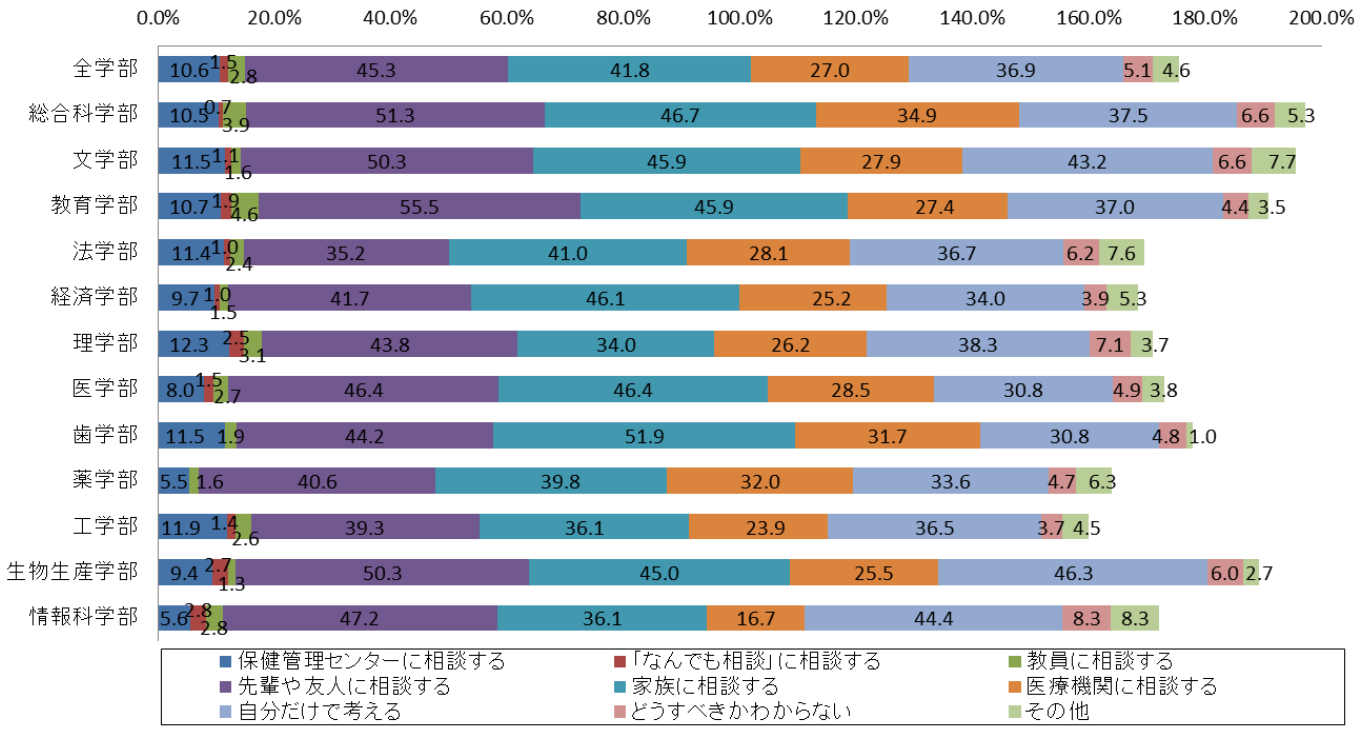
※　グラフの目盛りの最小値は 50%



２１　身体面，心理面の悩み解消

設問 38　身体面，　心理面で何か悩みが生じた場合には，　解消に向けてどうしますか。（複数回答可）

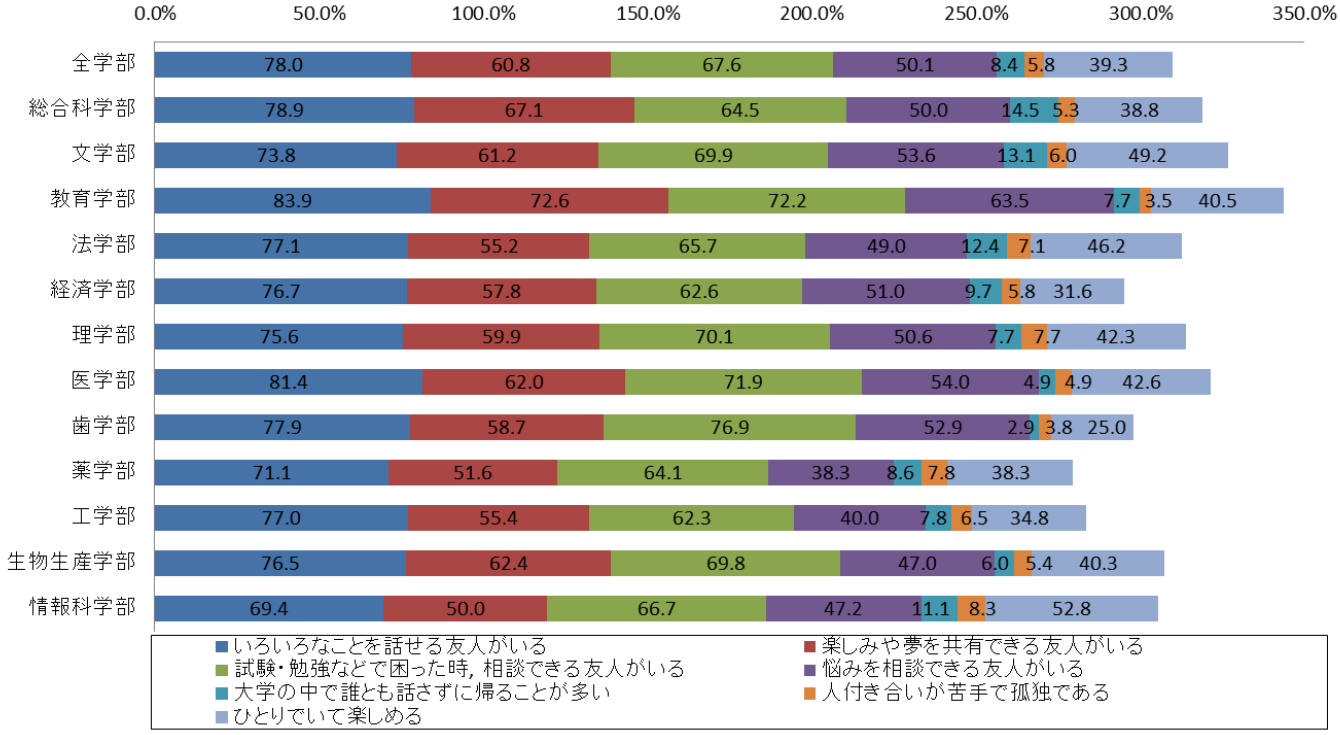
相談する相手としてもっとも多かったのが「先輩や友人」45.3%であり，次に「家族」41.8%，「医療機関」27.0%で，これらの傾向は前回と同様の結果であった。「保健管理センター」は 10.6%と前回の 8.1%よりやや増えていた。



２２　友人との関係

設問 39　友人についてお尋ねします。（複数回答可）

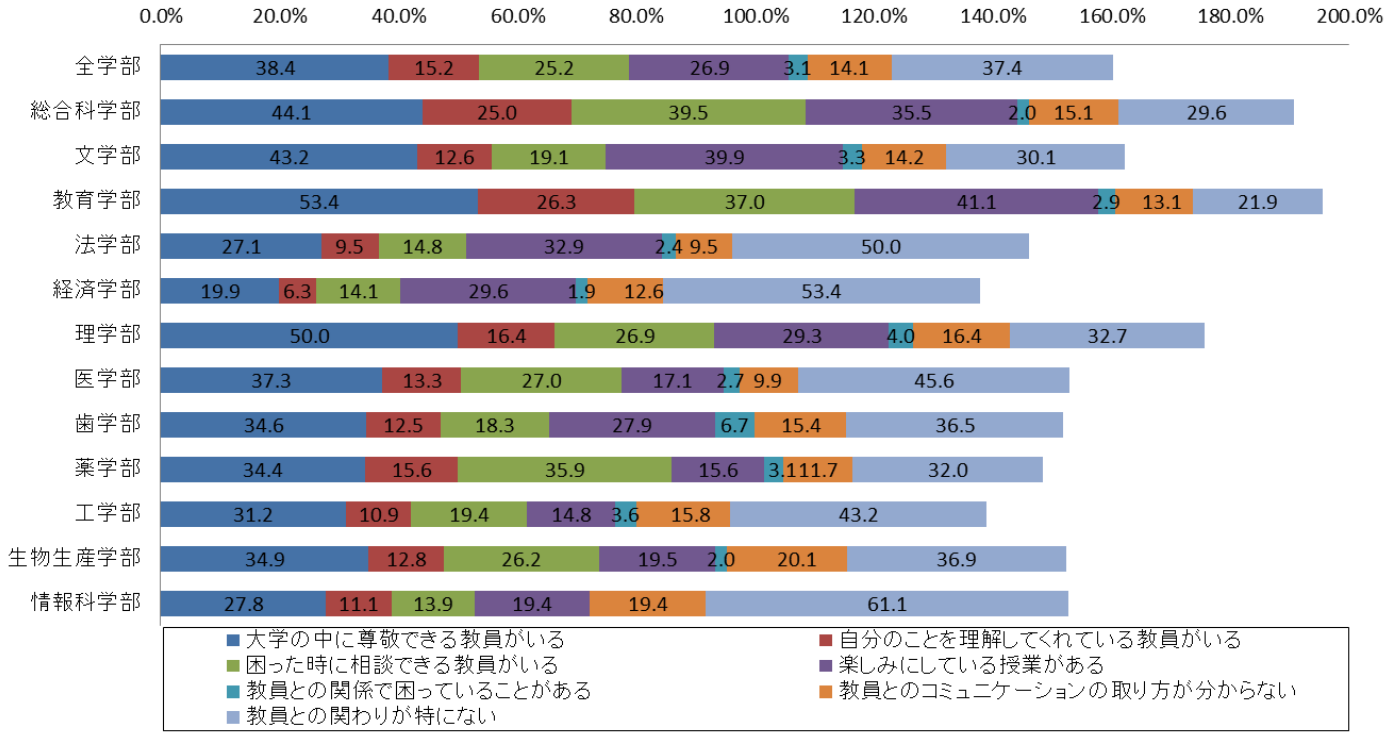
「いろいろなことを話せる友人がいる」と回答した学生はほぼすべての学部で７割を超えている。困ったことや悩みを相談できる友人がいるとの回答も 38%から 72%を占める。その一方で，「大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い」や「人付き合いが苦手で孤独である」との回答が合わせて２割を超える学部もある。



２３　教員との関係

設問 40　教員についてお尋ねします。（複数回答可）

全体では，「大学の中に尊敬できる教員がいる」（38.4%）と「教員との関わりが特にない」（37.4%）が上位２つの回答である。学部や学年によっても，異なる傾向があり，在学中に教員との良い関係を持たせるための，仕組や対策も考える必要があると思われる。



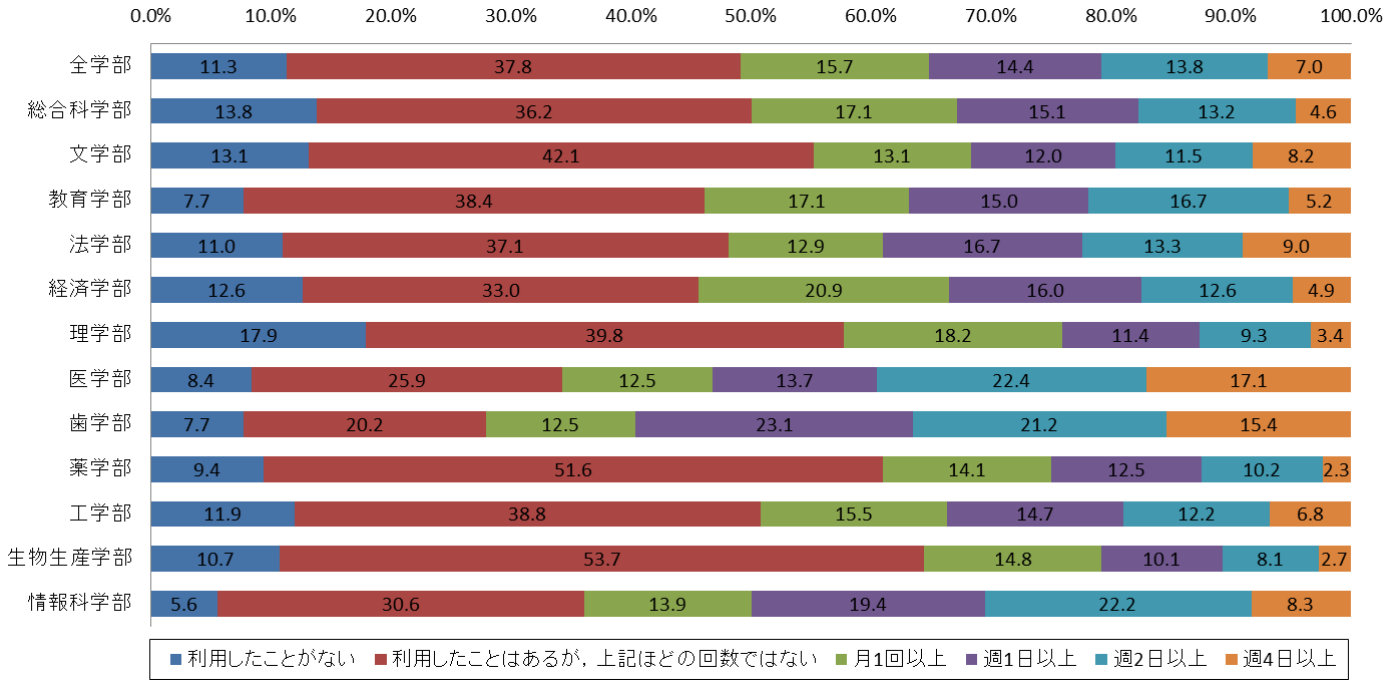
２４　学生交流スペースの利用

設問 41　構内のフリースペースや多目的室を利用したことがありますか。利用している場合，どのくらいの頻度で利用しますか。

全体の 88.7%が利用したことがあるという結果になった。

全体の傾向としては，月１回未満の利用が最多で，月１回以上・週１日以上・週２日以上の利用がそれに続く形で同程度の割合であった。

学部別の傾向では，医学部と歯学部と情報科学部は，他の学部と比べて月１回以上の利用の割合が高かった。



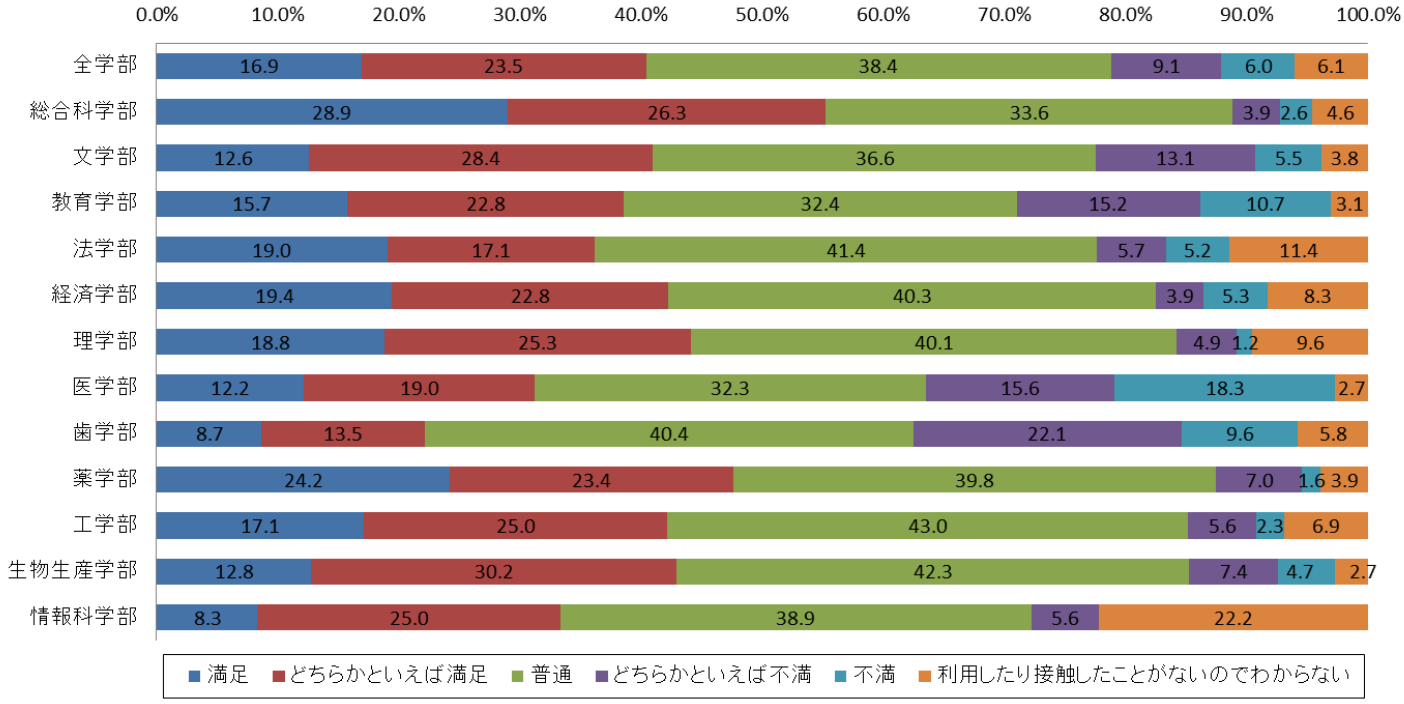
２５　所属学部の学生支援室の対応

設問 42　所属学部・研究科の学生支援室の対応について，印象や満足度を教えてください。

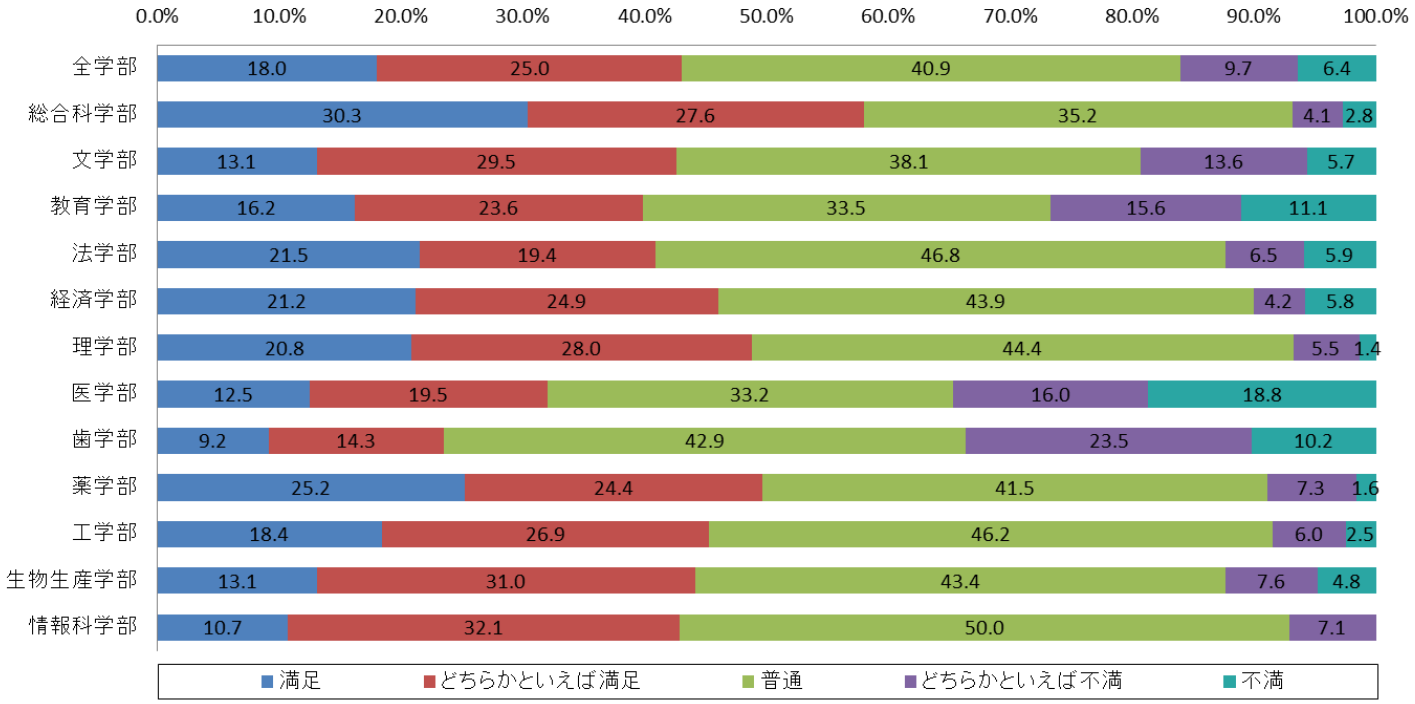
全体の 93.9%（グラフ 1）が学生支援室を利用したり接触したりしているが，そのうち「満足である」「どちらかといえば満足」と回答したのは 40.4%である。

利用したことがある者のうち「満足である」「どちらかといえば満足」と回答した割合（グラフ 2）が高いのは，総合科学部（57.9%）である。全学部における傾向は，前回調査と同様であった。

【グラフ１（利用したことがない者を含む）】



【グラフ２（利用したことがある者のみ）】

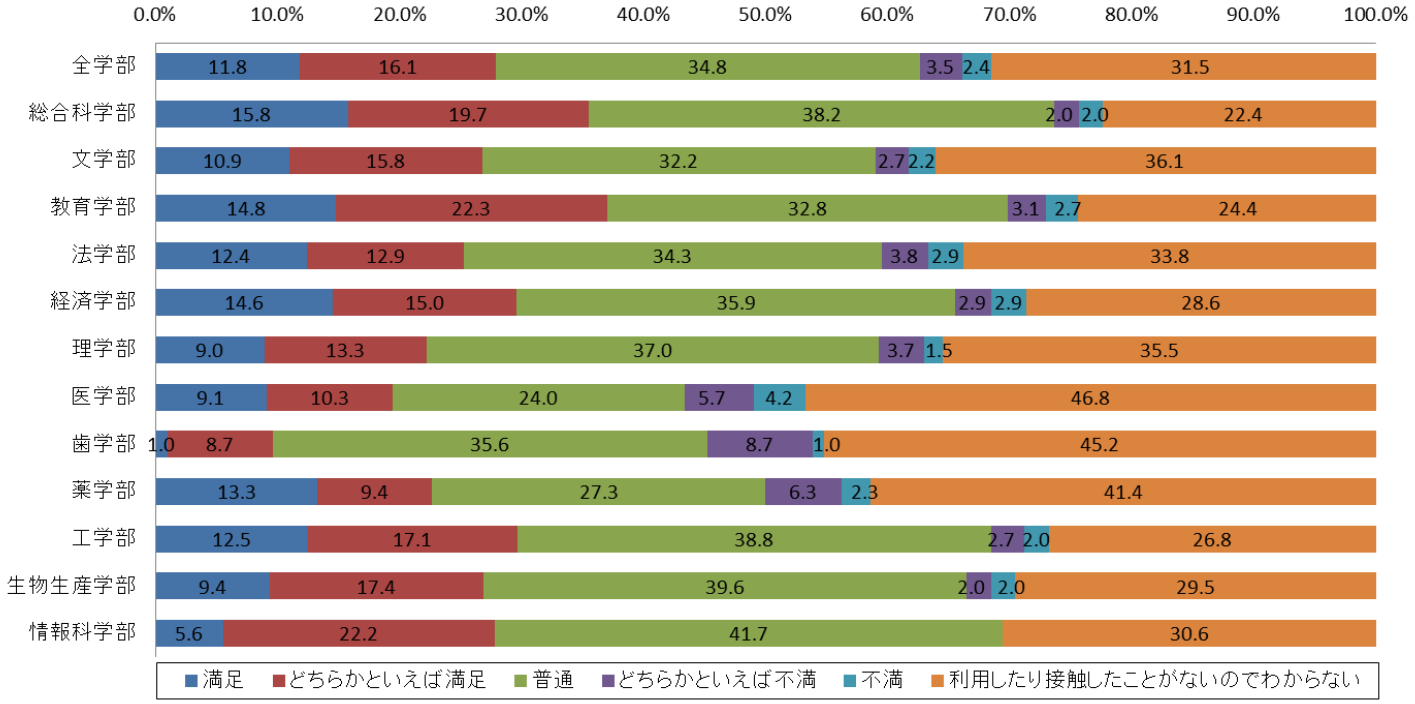


２６　学生プラザの学生支援部門の対応

設問 43　学生プラザの学生支援部門の対応について，印象や満足度を教えてください。

全体の 68.5%が学生プラザの学生支援部門を利用したり接触したりしており，前回調査と比較して若干増加している。東広島キャンパスに通う機会の少ない医学部，歯学部，薬学部は利用したり接触したりした割合が低い。

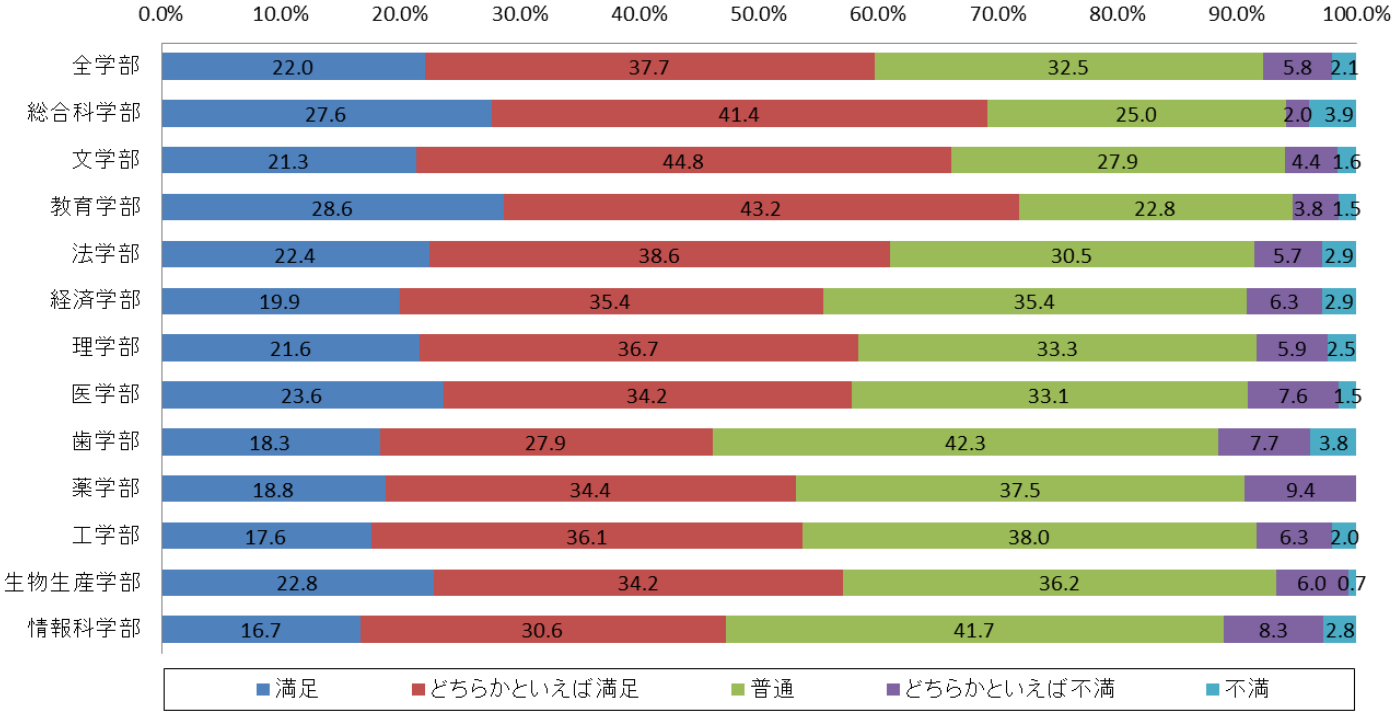
また，「満足である」，「どちらかといえば満足」と回答した割合と「不満である」「どちらかといえば不満」と回答した割合は前回調査と同様の傾向であった。



２７　本学の教育・学習，学生生活などの全体的満足度

設問 44　本学での教育・学習，学生生活などに関して，全体として「良い」，「楽しい」と感じるなど，満足していますか。

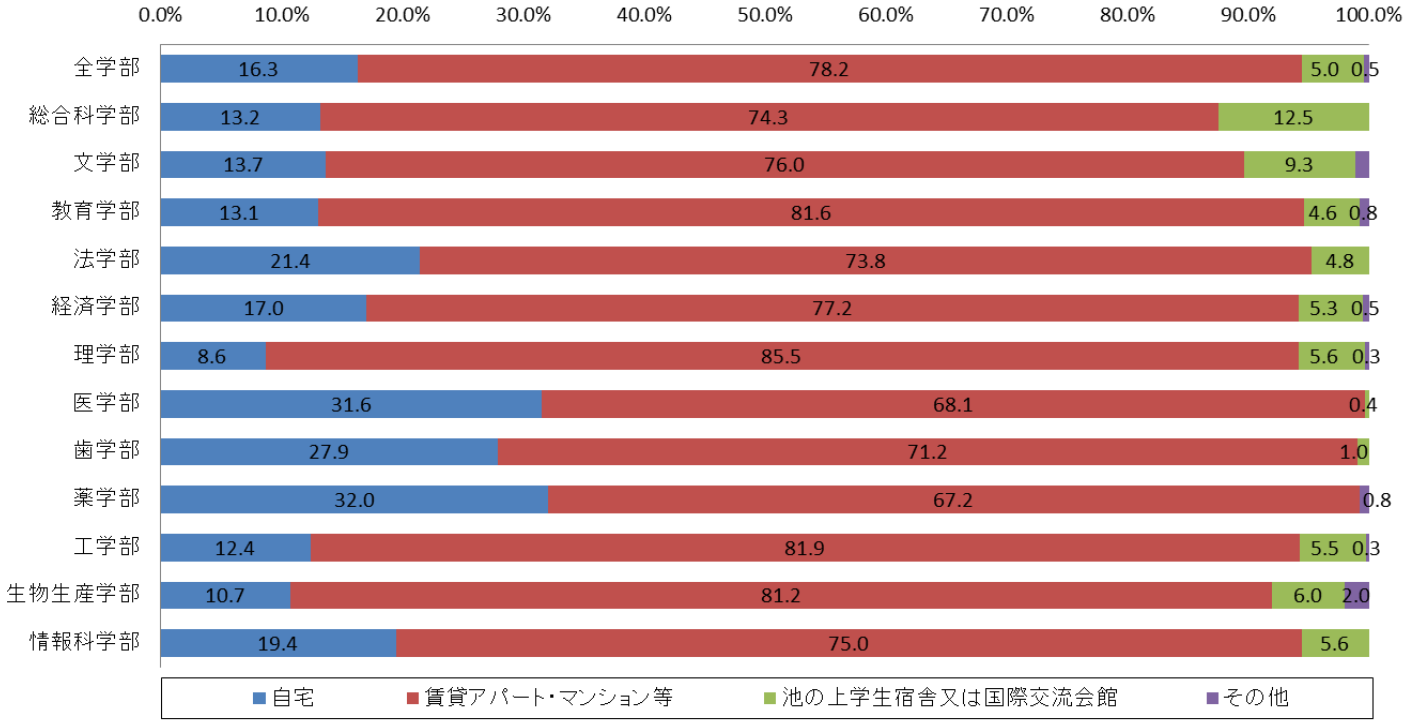
教育学部の 7 割超えを筆頭に，総合科学部，文学部の満足度が高い。次いで法学部・理学部・医学部・生物生産学部，さらに工学部・薬学部と続き，情報科学部と歯学部の満足度が他に比して低く，5 割を超える。総合・文・教育における満足度の高さと，歯学部・情報科学部における低さの要因探究を進める必要がある。



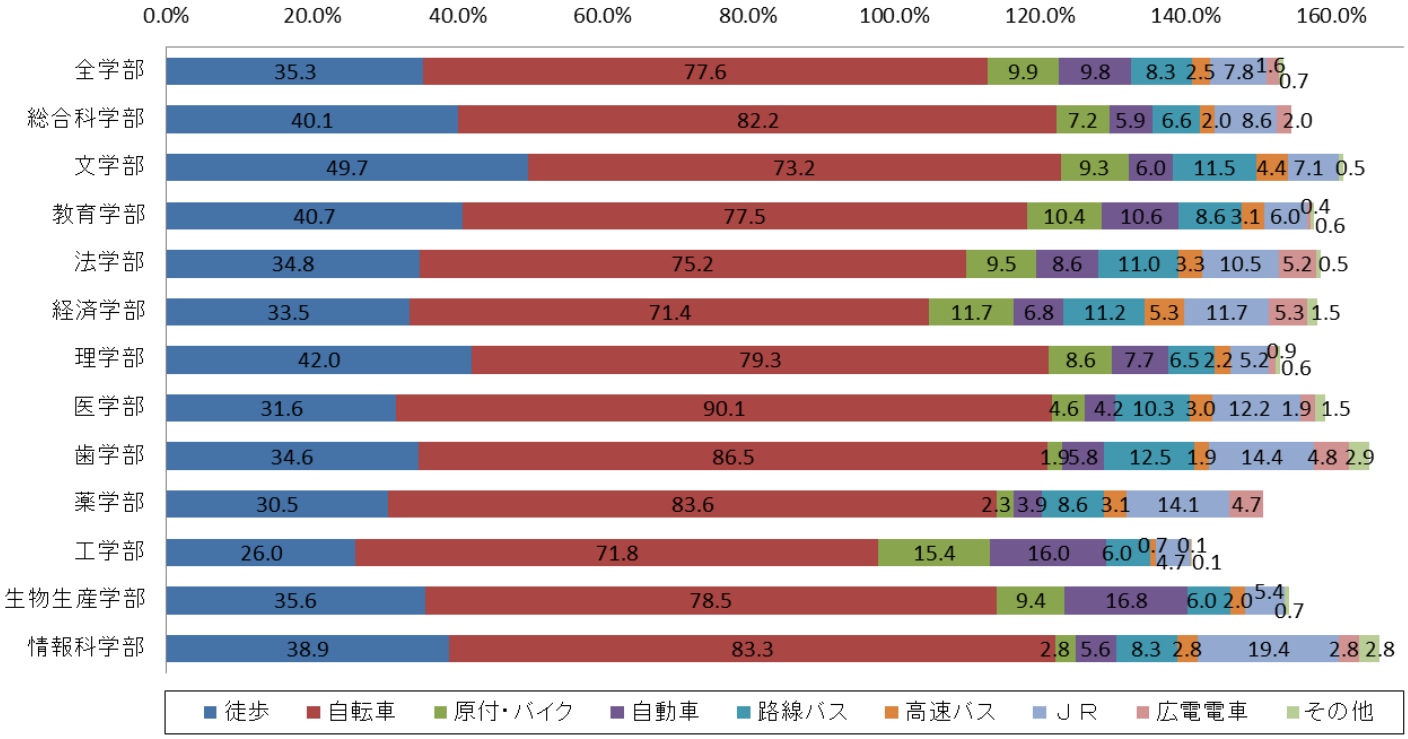
２８　居住形態

設問 45　居住形態を教えてください。

医歯薬系学生の賃貸アパート・マンション居住が他学部に比して高い。



２９　通学方法

設問 46　通学方法を教えてください。（複数回答可）

全般的に徒歩・自転車通学が多い。工学部・生物生産学部に自動車利用の学生の割合が多い。また，工学部は他学部学生に比して原付・バイク通学の学生割合も高い。